

葛飾の図書館

平成22年度 事業年報



Katsushika
City Libraries

葛飾区立図書館

目 次

1	葛飾区の概要	1
2	葛飾区立図書館のあゆみ	2
3	開館時間・休館日	13
4	組織図	14
5	委員会活動報告	
	（1）一般サービス委員会	15
	（2）YAサービス委員会	15
	（3）児童サービス委員会	15
	（4）資料収集委員会	17
	（5）障がい者サービス委員会	17
6	施設の概要	20
	（中央館）中央	
	（地域館）立石・お花茶屋・上小松・亀有・水元・鎌倉	
	（地区館）四つ木・西水元・青戸・新宿	
7	事業の概要	
	（1）一般サービス	22
	（2）児童サービス	23
	（3）ヤングアダルト（YA）サービス	23
	（4）視聴覚（AV）サービス	24
	（5）インターネットサービス	24
	（6）団体サービス	25
	（7）障がい者サービス	26
	（8）広報活動	28
	（9）自主活動グループの支援	29
	（10）リサイクルコーナー	29
	（11）学校との連携・学校図書館支援	29
	（12）学校図書館ボランティアへの支援	29
	（13）ビジネス支援サービス	30
	（14）図書館員のための新任研修・現任研修	31
	（15）図書館海援隊	31
	（16）葛飾図書館友の会	32
	（17）国民読書年における事業	32
	（18）東日本大震災発生時の対応及び取り組み	33
8	行事実績	
	（1）中央図書館 一周年記念イベント	35
	（2）一般室主催行事	36
	（3）児童室主催行事	37

(4) 障がい者サービス委員会主催行事	40
(5) その他の行事	41
9 各種統計	
(1) サービス実績	43
(2) 登録者所在内訳	43
(3) 図書館資料費推移 (決算額)	44
(4) 登録者の推移	46
(5) 蔵書数の推移	47
(6) 資料統計 館別蔵書・所蔵数	47
(7) 館別蔵書冊数	48
(8) 蔵書冊数表	49
(9) 図書貸出冊数の推移	50
(10) 図書貸出冊数表	51
(11) A V (視聴覚) 資料利用状況	52
(12) 予約・リクエスト統計	53
(13) 蔵書点検	54
(14) 図書受入・除籍数	56
(15) A V 受入数	57
(16) 団体貸出の利用状況	57
(17) 障がい者サービスの利用状況	57
(18) 図書館別・自動貸出機利用者数	58
(19) 中央図書館個人閲覧席・ 利用者用インターネット利用者数	58
(20) メール通知サービス登録者数	59
(21) 図書館別来館者数・平均来館者数	59
(22) 利用カードパスワード登録者数	59
(23) E-mail アドレス登録者数	59
(24) 貸出ベスト	
一般図書	60
児童図書	61
A V (C D)	62
A V (カセット)	63
A V (D V D)	64
10 葛飾区立図書館関係例規集	
葛飾区立図書館設置条例	65
葛飾区立図書館館則	67
葛飾区立図書館処務規程	73
11 葛飾区子ども読書活動推進計画	
葛飾区子ども読書活動推進計画 (抜粋)	78

1 葛飾区の概要

位置

葛飾区は東京都の東北端に位置し、東は江戸川を境に千葉県松戸市に、西は足立区、南は荒川を隔てて墨田区と江戸川区に、北は大場川を隔てて埼玉県三郷市と八潮市の3市3区に接している。

地勢

地形は南北にやや長く約9.8km、東西は約7.3km、面積は34.84km²と23区中7番目の広さを持ち、区部の約5.8%を占めている。区全体が平坦な土地で、海拔2.5mの水元、柴又地区から、マイナス1mの新小岩地区へと北から南へわずかながら傾斜している。

区の人口

450,046 人(男 225,559 人、 女 224,487 人)

世帯数

217,006 世帯

区の花

花しょうぶ



区の木

しだれやなぎ



(平成23年4月1日現在)

2 葛飾区立図書館のあゆみ

昭和

24. 1 当区最初の図書館として、本田町 17 番地に葛飾図書館(現・立石図書館)開設。面積 90 m²余、約 3,000 冊の蔵書で発足。入館料大人 2 円、子ども 1 円。(当時ハガキ 1 枚 2 円)
25. 4 「図書館法」の制定により、入館料の徴収を廃止。
26. 3 第 1 回レコードコンサート開始。クラシック、ポピュラーそれぞれ解説者をつけて、土曜日の夜、閉館後に開催。(現・立石図書館)
28. 4 団体貸出業務開始。各分野の図書を詰め合わせた 10 冊を 1 パックとし、50 冊まで 1 ヶ月貸し出す。
30. 7 隣接の旧本田職業安定所の建物を改築して現在地(立石一丁目 9 番 1 号)に移転。
35. 4 夜間開館(午後 6 時まで)始まる。貸出冊数 1 人 2 冊とし、貸出期間 10 日間とする。
39. 4 平日の開館時間を、午後 8 時までに延長。
42. 4 旧新宿支所跡(新宿三丁目 7 番 1 号)に「葛飾区教育センター」を建設。センター内に教育研究所などと併設で、葛飾区立葛飾図書館開館(4 月 20 日)。貸出方式にブラウン方式を採用。(以後全館この方式となる) 旧葛飾図書館は「葛飾区立立石図書館」に改称。
- 5 葛飾図書館内に郷土資料室を開設。
- 9 団体貸出業務を立石図書館から葛飾図書館へ移管。(5 人以上を 1 団体とし、1 口 10 冊、5 口まで 1 ヶ月貸し出し。)
読書週間中に、葛飾図書館で初めて講演会および映画会を行う。(講師は、秋山ちえ子氏『家庭と読書』ほか。)(他館は昭和 54 年度から)
43. 5 レコードの購入開始。16 ミリフィルム、映写機の貸出開始。葛飾図書館で土曜レコードコンサート開始。
- 9 「葛飾図書館報」創刊。
44. 6 団体貸出用配本車配備。「電話一本で本の出前」のキャッチフレーズにより貸出サービスの広域化を図る。午前中受けたリストに基づき午後配本。
- 8 電子コピーによる複写サービス開始。
- 9 読書週間行事として郷土史講座開催。以後、毎年 2 日間にわたり開催。
45. 5 入館票を廃止し、入館札(プラスチック製)により閲覧室は座席指定となる。児童室は全廃。
レコードコンサートにクラシック、ポピュラー各解説者がつく。(葛飾図書館)
46. 4 図書の予約制度を導入。
- 7 児童向けに図書館 PR のためのキャラバン実施。(葛飾図書館)
- 11 立石図書館、改築のため休館。
47. 7 視覚障がい者のための点字図書の収集、貸出開始。1 人 5 冊まで 1 ヶ月間。
夏休み期間中、レコードの館外貸出開始。(葛飾図書館)
- 8 「葛飾図書館報」第 8 号から「花しょうぶ」と改名。

48. 4 貸出冊数を2冊から3冊(児童室は4冊)に、貸出期間を2週間とする。
5 立石図書館改修工事竣工、1日業務再開。旧図書館の4倍以上の規模となる。
49. 6 団体貸出の電話受付を廃止し、来館選定方式となる。
51. 8 高校生以上を対象にレコードの貸出開始。(葛飾図書館)1回2枚、期間1週間。
52. 6 1日、お花茶屋図書館開館(お花茶屋二丁目1番15号)。障がい者用設備設置。
10 1日、都営住宅1階に上小松図書館開館(東新小岩三丁目12番1号)。
54. 4 レコードの貸出を中学生以上とする。(葛飾図書館)
55. 2 「葛飾区基本計画」策定。この計画により図書館建設及び、蔵書目標の骨子固まる。(中央館1館・16万冊、地域館6館・5万ないし7万冊)
学級招待をはじめて実施(立石図書館)
56. 7 立石図書館にレコード、カセットテープの館内利用コーナー及び参考図書コーナー設置。
10 1日、都営住宅1・2階に亀有図書館開館(亀有一丁目17番5号)。
57. 4 カセットテープの貸出開始。1回2本、期間1週間。(葛飾図書館)
6 1日、水元保健相談所と併設して水元図書館開館(水元一丁目7番3号)。
58. 3 図書の年間個人貸出冊数、6館合計で100万冊を越える。
5 一般室図書の貸出冊数を児童室同様4冊とする。期間2週間。
9 視覚障がい者にカセットテープの貸出開始(葛飾図書館)
連絡車による宅配。電話でも申し込みを受け付ける。
59. 園招待を初めて実施(水元図書館)
12 葛飾区教育センターの改修工事始まる。(出張所分室、東福祉事務所の移転を機会に、葛飾図書館の拡充整備を行う。)
60. 11 葛飾図書館、改修工事完了。障がい者用設備(対面朗読室、録音室等)設置。区内全域をカバーする図書館のセンターとして始動する。
12 区立図書館の事務改善及び機械化検討委員会発足。
61. 4 視聴覚障がい者に対面朗読サービス開始。
10 区立図書館の電算化に向けて、システム構築部発足。
62. 4 一般事務の事務事業の改善、充実を目的として、一般室事務研究会を発足。
児童事務の事務事業の改善、充実を目的として、児童室事務研究会を発足。
6 25日、鎌倉図書館開館(鎌倉二丁目4番5号)。区立図書館で初めてCD購入。
同日、葛飾、立石、鎌倉3館によるオンラインサービス開始。23区初の利用者用端末を設置。
図書の貸出冊数を6冊までに変更。期間は従来どおり2週間。
63. 4 雑誌の収集分担・保存等の検討のため、雑誌担当者会を発足。
葛飾図書館以外でのCD、カセットテープ及びレコードの貸出に向けてAV担当者会を発足。
6 1日、お花茶屋、上小松、亀有、水元各館の電算化により、葛飾区立図書館7館全館オンラインサービス開始。

16日、葛飾図書館に「葛飾区コーナー」を設置。朝日新聞に掲載される。(6月11日朝刊)

「葛飾区コーナー」には、葛飾区についての記述のある図書、葛飾区の地名がのっている図書、葛飾区在住の画家、工芸家等の作品が掲載されている図書、葛飾区内に在住している人の著作(過去に在住した人を含む)を置く。設置時約130冊。

- 7 区内の小学生に対し、学校を通じて夏休み向けパンフレット、推薦図書リストを配布、図書館利用を呼びかける。

平成

元

- 1 区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる貸し出しに向けて準備を開始。
- 4 1日、葛飾図書館組織改正。奉仕係、資料係及び主査を廃止し、図書館サービス主査3人を新設。(主査3人の事務分掌は、一般奉仕、児童奉仕、電算・広報・調整とする。)新聞の区内図書館関連記事の切り抜きを始める。
区立図書館のPR活動の促進を目的とする広報委員会を発足。
資料収集について検討する資料委員会を発足。
電算システムの改善、開発に向けて電算委員会を発足。
- 7 1日、区立図書館全7館の児童室開室時間を、それまでの平日午後1時から、一般室と同様午前9時からに改正。
- 8 4日、水元図書館で、小学生が『一日図書館員』を体験。
- 11 1日、区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる館外貸出を開始。(開始時の所蔵は、CD5,507枚、カセットテープ10,628巻、レコード8,356枚。)貸出点数はCD、カセットテープ合わせて1人2点まで、レコードは制限なしとした。貸出期間は図書と同じく2週間。産業経済新聞に掲載される。(10月26日朝刊)。CDの貸し出しが11月1ヶ月間で1.4回と好調。
同日、葛飾図書館のCD、カセットテープ及びレコードの貸出カウンターを2階の一般図書カウンターに移し統合した。これに伴い、貸出時間を午後5時から午後8時まで延長。
2. 1 区立図書館全7館に特設コーナーを設置。テーマは葛飾『地方出版物』、立石『戦争と平和』、お花茶屋『実年』、上小松『外国語』、亀有『環境問題』、水元『ヤングレファレンス』、鎌倉『消費者』。葛飾図書館の地方出版物コーナーが読売新聞に掲載される。(1月26日朝刊)
葛飾図書館に洋書コーナーを設置。ビジュアルなものや世界の名作、日本を紹介したものを中心に新規購入した750冊を加え、1,200冊を備える
- 4 図書、雑誌の貸出冊数の制限を撤廃。CDとカセットテープの貸し出しも4点までに拡大。
障がい者に対する区立図書館のサービスを検討する障がい者サービス委員会発足。
- 7 1日、CD、カセットテープの予約サービスを開始。受付は、自館所蔵分のみ。

- 10 区立図書館全7館において、蔵書の収集分担を開始。分野は、葛飾『0類(総記)・1類(哲学)・8類(言語)・9類(文学:小説を除く)』、立石『3類(社会科学)』、お花茶屋『4類(自然科学)』、上小松『7類(芸術)』、亀有『5類(技術)』、水元『2類(歴史)』、鎌倉『6類(産業)』。
- 11 1日、登録申し込みの際に必要な生年月日を生年のみとした。
- 3. 1 5日、CD、カセットテープを他の図書館から取り寄せるサービスを開始。これにより予約受付は、全館の資料が対象になると同時に、返却も任意の館にすることを可能とした。区立図書館全7館において、文庫本の収集分担を開始。葛飾『ちくま文庫』、立石『PHP文庫』、お花茶屋『福武文庫』、上小松『知的生き方文庫』、講談社英語文庫』、亀有『河出文庫』、水元『同時代ライブラリー』、鎌倉『講談社学術・文芸文庫』。
- 3 「郷土と天文の博物館」の開設に伴い、郷土資料室所蔵の資料を同博物館に移管することとなり、葛飾図書館内に設置されていた郷土資料室を廃止した。
- 6 CD-ROMの収集を始める。
- 7 ビデオソフト及びレーザーディスクの収集を始める。
ビデオ映写機を地域館6館にリースで設置。
- 11 ビデオ映写機を教育センター第1会議室にリースで設置。
音訳ボランティア中級講座を開催。
- 4. 1 葛飾図書館2階の郷土資料室跡を改修し、生活、学習、スポーツ、レクリエーション等区民に役立つ各種の情報資料(主として図書、雑誌)を集めた、情報コーナーを設置。資料の収集範囲と分類は、次のとおり。
 - (1)情報源がのっているもの。
 - (2)読書の手がかりとなるもの。
 - (3)旅行案内。地図。
 - (4)都内の施設、機関、情報等に関するもの。
 - (5)文化、趣味、スポーツのための施設、場所案内。
 - (6)学習、受験、資格取得のための施設、機関、情報等に関するもの。
 - (7)くらし、住まい、仕事に役立つ情報。
 - (8)医療、健康についての施設、機関等に関するもの。
 - (9)全国の電話帳。
- 12 区立図書館電算システムを新規機種へ移行(第1回バージョンアップ)(同時に女性センター図書資料室とのオンラインを開設し、資料の相互貸借を実施)
利用者開放端末「はてなくん」を設置。
- 5. 3 葛飾図書館の児童室前庭を緑陰閲覧室として整備し、利用者へ開放。
- 7 各館代表者で構成する図書収集方針策定委員会を発足。
- 8 小学生の『一日図書館員』を全館で実施。

6. 11 葛飾図書館(教育センターホール)で『図書のリサイクル市』を試行。2日間で来場者数2,973人、22,332冊(内訳:一般書14,882冊・児童書4,230冊・雑誌3,220冊)の本を提供。
地域館で、視覚障がい者に対する宅配サービスを試行実施。
7. 1 葛飾図書館で、ビデオテープの貸出開始。新規購入200巻を加え、928巻を備える。貸し出しは1人1巻で1週間。
朗読ボランティア初級養成講座を開催。
- 5 図書館システムのバージョンアップに向けて電算委員会発足。(現状の問題点をアンケートに集約し、各メーカー及び自治体を視察。)
8. 5 朗読ボランティア中級養成講座(全10回)を開催。
- 12 7日、四つ木地区図書館(四つ木四丁目8番1号 よつぎ小学校内)開館。葛飾図書館の分館とする。
9. 8 葛飾図書館の2箇所目の分館として、西水元地区図書館設立工事着工。
- 11 『本のリサイクル市』を亀有図書館で単独開催。1日で来場者数820人、4,500冊。(内訳:一般書2,500冊・児童書1,500冊・雑誌500冊)の本を提供。
10. 4 第3日曜日を開館日とする。(地区図書館を除く)
館内整理日を第4木曜日とする。
対面朗読と肢体不自由者への宅配を開始。
視覚障害・音訳ボランティア・点訳ボランティア・図書館職員による四者懇談会を開催。
文庫目録、要項を作成。
11. 1 電算システム新機種へ移行(第2回バージョンアップ)
ソフトは2000年対応を含め、部分開発をする。
AVマーク(AV-NOCS)の導入及び図書マーク(日販マーク)のバージョンアップ。
ISBN総合目録に加わり、相互協力を強化した。各館にPCを設置し、都立図書館蔵書目録(METLICS)が検索可能になる。
- 6 1日、西水元地区図書館(西水元二丁目2番8号 西水元あやめ園内)開館。葛飾図書館の分館とする。
12. 4 葛飾図書館の組織改正(管理係・一般サービス係・児童サービス係から、管理係・調整係・図書館サービス係となる)
四つ木・西水元地区図書館の第3日曜日を開館し、土曜・日曜の開館時間を午前10時から午後5時までとする。
返却期限の過ぎている資料がある場合は、新たに資料の貸し出しは行わないこととする。
ビデオソフトの貸出期間を2週間とする。
葛飾図書館において、国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。
組織改正に伴い、各館で行っていた資料の選定を、葛飾図書館における集中選定とし、事務の効率化を図る。
資料の装備を委託から直営に切り替える。

- 一般公募による非常勤職員を初めて採用。(24名)
- 9 利用案内の英語版を改定。中国語版・ひらがな版を新たに作成。
お花茶屋図書館耐震及び空調設備改修工事実施。(9/20～11/24 休館)
 - 11 子ども読書年企画事業として、連続講演会を開催。(高樓方子氏 10/29・松岡佑子氏 11/18・小林衛己子氏 11/26)また、『むぎわらぼうしの12年展』を葛飾図書館ロビーにて同時開催。(10/29～11/26)
子ども読書年記念リーフレット『いっぼ いっぼ』を作成。
- 13.
- 3 教育研究所が、旧明石小学校へ移転。
FMかつしかで、月2回(第2・第4水曜日)図書館の放送時間を新設。
 - 4 教育研究所移転により図書館単独施設となる。教育センターの名称を変更し、葛飾図書館とする。
地域館・地区館において、葛飾図書館所蔵のビデオテープの予約による貸出開始。
地域館・地区館において、国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。
葛飾区音訳ボランティア作成・校正済の録音テープを初めて都立図書館に登録。
 - 6 亀有図書館冷暖房設備改修工事実施。(6/5～7/9 休館)
障がい者サービスの利用案内(墨字版)を作成。
 - 7 1日から葛飾図書館1階エントランスにて、検定前の小・中学校教科書の展示会開催。
19日、葛飾ゆかりの作家 中島梓氏の御母堂よりその著作の寄贈を受ける。
 - 9 録音図書全国総合目録への参加。5作品を登録。
 - 10 庁内レファレンスサービス事業を開始。
葛飾ケーブルテレビで、新刊本の紹介開始。
紛失・汚破損マニュアルを改訂。
 - 12 葛飾区立図書館の所蔵するレファレンスブック(参考図書)一覧を改訂。
障がい者サービスの利用案内(点字版)を作成。
- 14.
- 1 葛飾図書館三階行政資料室を、旧教育研究所資料室に移設し、行政資料・郷土史料の収集を強化し充実を図る。
利用案内のハングル語版を新たに作成。
 - 3 総合的な学習や調べ学習を支援するため、『図書館利用案内小中学校版』を作成。
 - 4 「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年12月公布・施行)に定められた「子ども読書の日」(4月23日)にあわせ、絵本やおすすめ本の展示会などを各館で開催。
 - 5 図書館システムのリース期間満了(平成15年12月)による、新システム導入の委託事業者の選定について、プロポーザル方式により、事業者からの技術提案を募集。(7月に図書館オンラインシステム開発委託業者選定委員会において、推薦事業者を決定。)
 - 6 「第1期 読み聞かせボランティア講座(初級)」開催。(受講定員25名に対し、95名の応募)
 - 7 中学生、高校生向けの図書リスト『Dog ears(ドック イアーズ)』を作成し、区立中学校全生徒に配布。

- 9 葛飾図書館耐震及びエレベータ設置工事实施。(9/2～11/30 休館)
併せて、葛飾図書館の2階にレファレンスカウンター、1階に総合カウンターを設置。
葛飾図書館にBDS(ブック・ディレクション・システム～葛飾図書館資料無断持ち出し検
知システム)を設置。
- 10 区制70周年記念行事の一つとして、『シルバー図書館員』を実施。
その他、翌年3月までに区制70周年記念行事として、講演会(林あまり氏 1/18・あきや
まただし氏 1/25)、人形劇、葛飾昔話紙芝居会、16mmフィルム上映会、区制70年と
葛飾区立図書館あゆみ展、文学で見る葛飾区展などを開催。
15. 2 「第2期 読み聞かせボランティア講座(初級)」を開催。(応募者が多数のため第1期を
受講できなかった方々の要望に応え、第2期を開催。受講定員25名に対し105名の応
募。)
『葛飾区立図書館基本計画』を策定。計画期間を10年間とし、図書館サービスの計画的
な充実を図る。
- 4 開館日及び開館時間を拡大する。(地区図書館を除く。)(祝日(1月1日を除く)も開館
し、月曜日が祝日にあたる場合は、月曜日を閉館し、翌火曜日を休館とする。祝日の開
館時間は、午前9時～午後5時まで。また、土曜日の開館時間を午後5時から午後8
時までに延長する。)
AV資料の利用状況を見直し、レコードの収集、貸出等を休止。
各地域図書館に専用レファレンスカウンターを設置。(地区館を除く。葛飾図書館は平成
14年12月に設置。)
平成16年開館予定の青戸地区図書館の資料の収集を開始。
- 6 第1回 公共図書館・学校図書館連絡会の開催(水元)
- 8 多くの子どもたちが参加できるよう、1日図書館員の開催日を増やす。
- 9 9月5日、葛飾区基本計画に位置づけられた新中央図書館整備に向け、第1回葛飾区
中央図書館建設検討委員会(庁内検討組織)を開催。
9月27日から、前年の初級読み聞かせボランティア講座に続き、「第1期 中級読み聞か
せボランティア講座」を開催。
- 12 図書館システムの入替え工事開始。全館12月22日から翌年1月9日まで休館。
入替え工事時期に併せ、全館で蔵書点検を実施。(全職員を対象に新システムの操作
研修を実施。)
葛飾図書館にパソコン利用者のためのパソコンルームを設置(8席)
16. 1 全館1月10日に開館。新システムによる業務開始。
10日、葛飾区立図書館ホームページを開設。
10日より、インターネットによる図書館資料の検索開始。
17日より、館内利用者開放端末からの予約受付開始。
28日より、インターネットによる予約受付開始。

新システムによる業務開始に伴い、これまで無制限であった貸出冊数及び予約冊数を変更。図書、雑誌の貸出冊数については、合わせて30冊まで、予約冊数については合わせて20冊までとする。AV資料については変更なし。

リクエストの受付については、区内在住、在勤、在学及び近隣区に在住の利用者のみとする。

葛飾図書館に持ち込みパソコン室を設置し、館内で電算機器が使用可能になる。

- 4 1日、葛飾図書館の一部組織改正を行い、新中央図書館の計画を担当する整備担当係を新設。
文部科学省から今までの児童サービスについての功績に対して、表彰を受ける。
- 5 12日、青戸地区図書館開設。(青戸5-20-6 青戸地区センター内)葛飾図書館の分館とする。
新中央図書館の基本設計に向けた図書館内検討チーム発足。
水元保健センター管内の児童館・保育園・図書館による子育て支援機関連絡会に参加。(水元)
本年度から導入された、学校図書館支援指導員の導入に伴う、研修を図書館で実施。
新中央図書館整備にあたり、区民が参加する「中央図書館開設懇談会」を設置。
- 6 新中央図書館整備にむけて、「新中央図書館開設にあたっての基本的な考え方」をとりまとめる。
- 7 「葛飾区子ども読書活動推進計画」の策定に向けて、検討委員会発足。
- 8 第1回 公共図書館・学校図書館連絡会の開催。(お花茶屋)
居場所作りの一環として、会議室の利用がない時に中学生のグループ学習に開放。(上小松)
- 10 お花茶屋図書館において、ビジネス支援コーナー(Wコーナー)を設ける。
- 11 葛飾図書館においてDVDの貸し出し開始。
葛飾図書館において、ビジネス支援コーナー(Wコーナー)を設ける。
金町保健センター管内の児童館・保育園・図書館子育て支援機関連絡会に参加。(葛飾)
第1回 公共図書館・学校図書館連絡会の開催。(葛飾)
- 12 1日、千葉商科大学との連携事業開始。(図書館が発行した紹介状を持参した区民は千葉商科大学図書館の利用カードが発行される。)
17. 2 第1回 公共図書館・学校図書館連絡会の開催。(上小松)
ブックスタート事業開始に向けた、ブックスタート準備会発足。
金町保健センター管内子育て支援機関による「子育てらんらんフェスティバルを開催」。(葛飾)
- 3 利用者の登録更新期間を3年から5年に延長。
第1回 公共図書館・学校図書館連絡会の開催。(亀有)
- 4 非常勤図書館専門員の導入。(葛飾区立図書館での経験5年の者は非常勤図書館専門員として最大3年間まで雇用継続。)

- ヤングアダルト向け図書館利用案内「ようこそ葛飾区の図書館へ」を作成。
 区内小・中学校への図書配送サービスを開始。
 図書館への来館が困難な高齢者への宅配サービスを開始。
 「お気に入りの本を絵にしよう」を実施。(優秀作品は表彰の後、全館を巡回展示。)
- 5 区内中学校の生徒に利用カードを配布。
 葛飾区子ども読書活動推進計画の策定。
 ブックスタートボランティア講習会を実施。
 第1回公共図書館・学校図書館連絡会の開催。(鎌倉)
 ヤングアダルトサービスマニュアルの作成。
 パソコンを使った手づくり絵本教室開催。
 「中央図書館開設懇談会」の公募委員を募集。(18名応募の中7名選定)
 - 6 葛飾図書館において利用者パソコンを2台設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
 庁内向けに業務用新着図書リストを作成。グループウェアに掲示を始める。
 - 8 ブックスタート事業の開始。(図書館でのブックスタートパックの配布と絵本読み。)
 立石図書館の改築を目的とした、PFI可能性調査を実施。
 - 12 12月28日と1月4日を開館日とする。
 18. 1 葛飾区関連新聞記事検索システムの公開を開始。(インターネットでも公開。)
 ホームページアクセス数100万件を超える。
 文字・活字文化振興法施行記念講演会「子どもと本の架け橋に」(島 多代氏)。
 (読み聞かせボランティア講座中級の公開講座をかねて。)
 - 3 新中央図書館実施設計完成。
 利用者アンケートの実施。
 - 4 葛飾図書館でカウンター業務の一部委託が始まる。
 葛飾図書館のみ月曜日を閉館。
 メールレファレンス受付をホームページ上で開始。
 メール督促を開始。
 ブックスタート事業の開催場所が、各図書館から各保健所、保健センターへ変更。
 保健所、保健センターで実施される3・4ヶ月健診時に実施。
 - 5 お花茶屋、上小松、鎌倉図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
 病院・施設入所者への宅配サービス開始。
 点字プリンター設置
 - 6 亀有図書館において、ビジネス支援コーナー(Wコーナー)を設ける。
 - 8 ホームページデザインのリニューアル。フレームを廃止。
 - 9 ビジネス関連コーナーを拡充。(葛飾)
 - 11 再開発ビル起工。
 障がい者サービスボランティア入門講座実施。

19. 3 中央図書館開設懇談会を終了し、(仮称)図書館友の会準備会へ移行する。
5 (仮称)図書館友の会準備会発足。
6 立石、亀有、水元図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
図書館ボランティア基礎講座開催。
8 ホームページにヤングアダルトコーナー開設。
10 ICタグシステムの導入決定。
20. 2 21年秋に稼働予定の新システムプロポーザルの公募開始。
3 ホームページアクセス数300万件を超える。
6 次期システムプロポーザル実施・決定。
葛飾図書館友の会設立。
- 11 ICタグ貼付開始。(葛飾図書館、立石図書館を除く全館、全資料。)
21. 3 立石図書館が建替え工事のため、休館。立石サービスコーナー開設。
6 「葛飾図書館さよならサイクル市」開催。
葛飾図書館は縮小運営。一階部分で図書館サービスを開始。
7 再開発ビル中央図書館部分引き渡し。
8 葛飾図書館引越し開始。
9 葛飾区立図書館メールマガジン登録開始。
中央図書館を除くすべての館で新システム稼働、ICタグを使用した貸出、返却サービスを開始。各地域図書館にて自動貸出機各1台が稼働。(地区図書館は除く。)
図書館メールアドレスの変更。
図書館ホームページデザインのリニューアル。
Webからの未所蔵資料の予約、登録、メールマガジンを含むメールサービスを開始。
- 10 葛飾区立中央図書館開館。23区内でワンフロアとしては最大の図書館として開設。
自動貸出機、自動返却仕分機、予約資料コーナーの稼働。ユニバーサル・デザインを採用。
中央図書館でビジネス支援サービスの一環として「ビジネス相談会」を開催。
中央図書館でオリジナル図書館バックを販売。
葛飾図書館は新宿図書センターと名称が変更。区内図書館ストックヤードの保存庫機能と地区図書館としての機能を併設させる。
- 11 図書館ホームページの「葛飾文学散歩」が稼働。
22. 2 Eメールレファレンスを利用者ログイン画面からログインして確認できるように変更。
文部科学省が立ち上げた「図書館海援隊プロジェクト(図書館による貧困・困窮者支援)」の参加を中央図書館が表明。
3 平成22年度前期中央図書館ビジネス相談会の定期的開催を決定。

- 4 南奥戸小学校内に開設する奥戸地区図書館の開設準備を開始。
立石図書館リニューアル開館のための開設準備を開始。
新宿図書センターに区内図書館のストックヤードとして保存庫を開設。
国会図書館、各大学図書館所蔵の相互貸借資料の有料化を図る。
 - 6 新宿図書センター内の学校図書配送エリアの運用及びレイアウトの検討のため、児童サービス委員会からPTを設立。
 - 8 葛飾区ゆかりの作家「栗本薫」氏のご遺族から、直筆原稿他約 297 点の寄贈の申し入れ。
中央図書館一周年記念事業として、図書館所蔵資料の葛飾コレクション図録の作成と葛飾区ゆかりの作家の資料展を開催。
 - 9 新宿図書センターの1階部分について、図書館機能と学校図書館支援機能を持たせるため、改修工事を実施。(9月27日から1月4日)
改修工事中は2階をサービスコーナーとして縮小開設。
 - 10 ヴィナシス金町(再開発ビル)一周年記念行事に図書館も参加し、ブックトークを行う。
新立石図書館の特別資料は、かつしかエコライフプラザとの併設のため「環境」とする。
- 23.
- 1 新宿図書センター内図書館リニューアルオープン。
 - 2 子ども読書活動推進計画(第二次)子ども読書活動を推進するための基本的な指針(素案)の報告、検討、確定を行う。
 - 3 東日本大震災発生。(3月11日)
葛飾区立図書館の全図書館を17時に閉館。(3月11日)
開館に向けての点検のため全図書館を休館。(3月12日)
区内全図書館で節電協力のため、閉館時間を午後5時に縮小して開館。
(3月14日以降)
安全確保のため、行事事業を中止した。
中央図書館を含め各図書館で「地震」の緊急特設及び特集展示を開始。(3月13日)
葛飾区に避難されている方への資料の貸出を開始。(3月23日)
水元学び交流館に避難されている方への団体貸出を開始。(3月25日)

3 開館時間・休館日

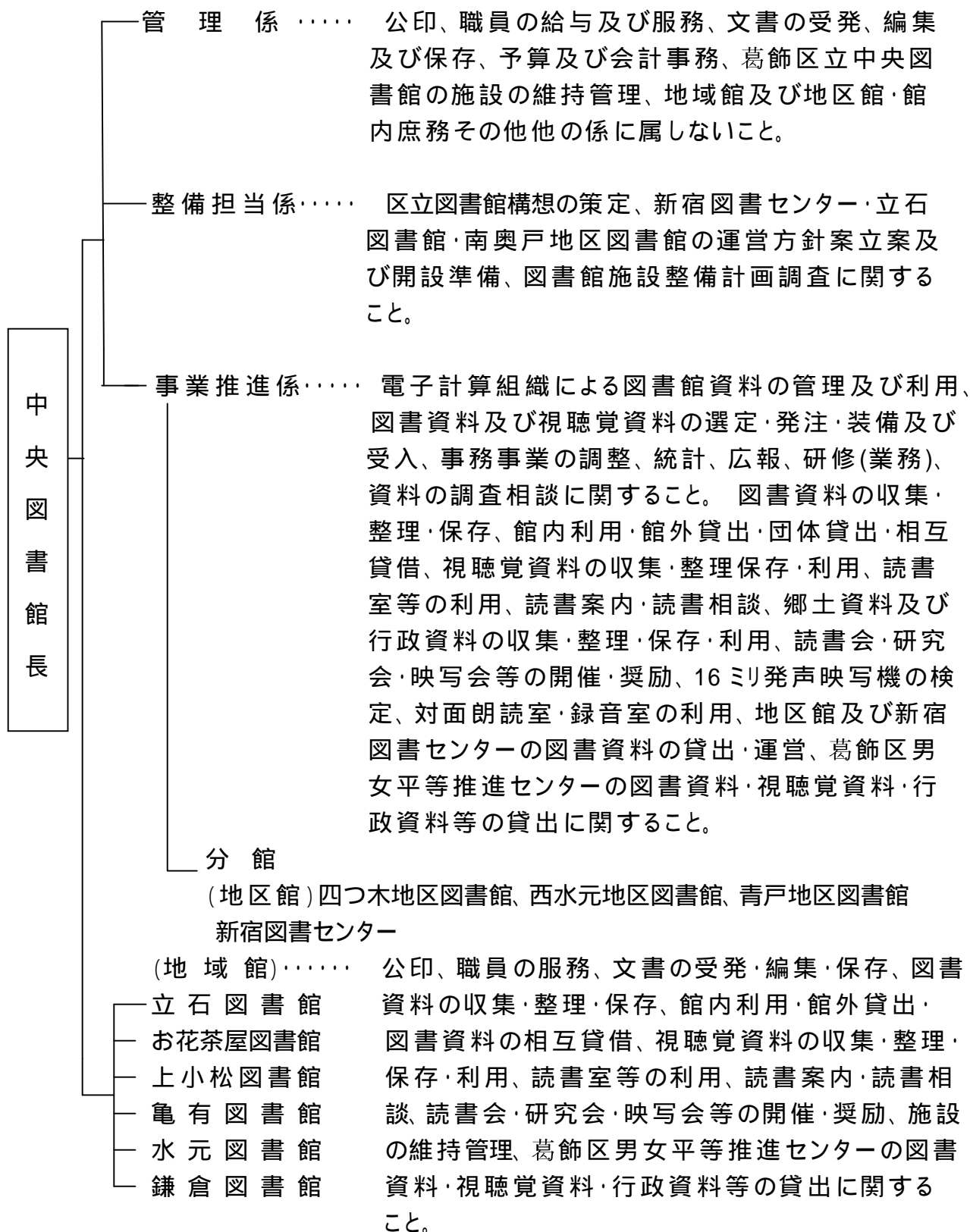
		開館時間	休館日
中央図書館 一般室		月～土 午前9時～午後10時 日・祝・ 12/29-30 午前9時～午後8時	館内整理日(毎月第4木曜日) 特別整理期間(年1回:4日間) 年末年始(12月31日～1月3日)
中央図書館 児童室		月～金・ 土・日・祝 午前9時～午後6時	
お花茶屋 上小松 亀有 水元 鎌倉 (地域館)	一般室	火～土 午前9時～午後8時 日・祝 午前9時～午後5時	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 館内整理日(毎月第4木曜日) 特別整理期間(年1回:各館2～4日間) 年末年始(12月29日～1月3日) 地区館のみ 国民の祝日(祝日が月曜または 館内整理日の場合は翌日も)
	児童室	火～日・ 祝 午前9時～午後5時	
四つ木・西水元 青戸・新宿 (地区館)		火～木・ 土・日 午前10時～午後5時 金 午前10時～午後8時	

立石図書館は建て替え工事中により休館

サービスコーナー(火～土 午前10時～午後8時、日・祝 午前10時～午後5時)を開設

4 組織図

館・係名



5 委員会活動報告

平成 22 年度は、各図書館から選出された代表者によって構成されている以下の委員会において、各分野の検討を行った。

		(部会名)	職員数(人)
中央図書館長	館長・係長会	一般サービス委員会	9
		YA サービス委員会	14
		児童サービス委員会	10
		資料収集委員会	9
		障がい者サービス委員会	9

(1) 一般サービス委員会

(図書館サービス関係)

各館申し合わせ事項の見直し。

利用案内の見直し。

新システムの運用の検討。

(広報関係)

「としょかんだより」第 76 号の発行。

(電算関係)

新システム稼動後の検証及び運用の検討。

(2) YA サービス委員会

平成 22 年度 Dog Ears を作成し、区内中学校及び高校に配布。

YA 雑誌リストを改訂し、館内の YA コーナーに設置した。

中学校からのブックトークの依頼にそなえて、ブックトーク研修を定期的に行った。

毎月持ち回りで 5 館ずつ、ホームページ上でオススメ本の紹介を行った。

国民読書年にともない、本のおたのしみ袋「はてなぶっくす？」を実施。

国民読書年にともない、区内全館でのシールラリーを実施。

国民読書年にともない、「10 代が大人にオススメする 1 冊」「大人が 10 代にオススメする 1 冊」のアンケートを行い、全館で展示した。

(3) 児童サービス委員会

子ども読書の日記念行事は昨年度に引き続き「行ってみたいこんな図書館」を実施。優秀作品の授賞式を行い、中央図書館で作品展示。その後各図書館で巡回展示した。

新宿図書センター団体配送と支援図書の運用について検討した。また、園招待の事業の見直しを行った。

読み聞かせボランティア講座(初級編)を開催。全4回。

幼稚園・保育園・小学校などで読み聞かせをしている方、または、する予定のある方を対象に、子どもの読書活動を推進していただけるボランティアの養成のため、読み聞かせ講座を開催した。中央図書館で開催。

開催日	内容	参加人数
5月15日	「読み聞かせ」-幸福なひと時をみんなで- 講師 伊藤明美氏(浦安市立中央図書館)	50
5月19日	ボランティア経験者のお話と実演・読み聞かせ指導 講師 読み聞かせの会「きびだんご」・「ひよこの会」	22
5月26日	読み聞かせ指導・発表準備	23
6月9日	受講生による発表会	22

読み聞かせボランティア講座(中級編)を開催。全4回。

読み聞かせボランティア講座(初級編)修了生のレベルアップを図るとともに、現在読み聞かせを行っている区民の技術向上を図るため講座を開催。

この講座は区民大学認定講座として開催。中央図書館で開催。

開催日	内容	参加人数
9月19日	「子どもの育ちを支える読書」 講師 脇明子氏(ノートルダム清心女子大学教授)	60
10月8日	「おはなしとは」 講師 湯沢朱美氏	30
10月29日	「おはなしの実習を中心に」 講師 湯沢朱美氏	30
11月12日	受講生によるおはなし会の発表会	17

各図書館で一日図書館員実施。中央館、各地域館は3日間、各地区館は1日間実施した。

ブックスタート公開講座を中央図書館で開催。講座終了後、交流会と説明会を実施。講座講師は金澤和子氏。参加者34名。

「むぎわらぼうし」「いちねんせいになったらよんでみよう」、「ライブラリーインフォメーション」「FIRST BOOK」のリストと児童利用案内「ほんはともだち」については、奥戸・立石の開館を受け改定し作成。

(4) 資料収集委員会

月例で除籍選定を行い、図書 34,560 冊の内 478 冊(復活率 1.4 %)を復活資料として選定。CD・カセットテープ 67 点復活なし。

東京都発行有償刊行物の選定、購入。

都立図書館で除籍した資料を再活用するための選定・申込。

回収図書や訴訟問題となった図書の取り扱いを検討。

コミック(購入及び寄贈)の受け入れ選定。

休廃刊雑誌・新規購入雑誌の情報提供及び受け入れ雑誌の選定。

次年度購入雑誌の選定と見直しを行い、「2011 葛飾区立図書館雑誌新聞目録」を作成。

旅行ガイドブック購入分担館の見直し。

予約多数図書の複本購入選定。

レファレンスデータベースの調査・検討。

ホームページ掲載用レファレンス事例の作成(19 件)。

レファレンスマニュアルを見直し、新たに「レファレンス・データ管理の方針」「レファレンス・ワーク基準」を作成。

DVD を選定購入。

(5) 障がい者サービス委員会

四者懇談会(四者:利用者、ガイドヘルパー、音訳・点訳ボランティア、図書館員)

懇談会において、障がい者サービスに対しての質問や意見、情報交換を行った。その後、プレックストーク操作体験や、希望される方には、中央図書館のハンディキャップコーナー他の館内を見学した。

開催日	内容	参加人数
11 月 16 日	四者懇談会	50

朗読CD・デジ資料の選定購入

朗読CD49 タイトル、デジ資料 7 タイトルを選定購入。

音訳ボランティア養成講座(中級)実施について

区内の図書館で音訳ボランティアの活動をしていて、かつ「音訳ボランティア講座(初級)」を修了しているか、同等レベルの技術のある方を対象として、技術の向上を図り、様々なジャンルの資料を音訳できる方を養成する講座を開催した。

テーマ1「漢文の読み方入門」全3回

講師：川谷内勝一氏（元二松学舎大学付属高校校長）

開催日	内容	参加人数
11月26日	漢文の読み方入門1 漢文の基礎から音訳の仕方	33
12月3日	漢文の読み方入門2 漢文の基礎から音訳の仕方	35
12月10日	漢文の読み方入門3 漢文の基礎から音訳の仕方	32

テーマ2「漫画の音訳(読み方)入門」全3回

講師：三浦一男氏（霊友会点字図書館 副館長）

開催日	内容	参加人数
1月14日	漫画の音訳(読み方)入門1 漫画を知るところからはじめる	38
1月21日	漫画の音訳(読み方)入門2 短編漫画を使って	35
1月28日	漫画の音訳(読み方)入門3 長編漫画を読む	32

音訳ボランティア講座(上級)実施について

区内の図書館で音訳ボランティアの活動を5年程度行って、かつ葛飾区で実施した「音訳ボランティア講座(中級)」を修了しているか、同等レベルの技術のある方を対象として、さらなる技術の向上を図り、様々なジャンルの資料を音訳できる方を養成する講座を実施した。

テーマ1「音声の発声法」全2回

講師：やまものりこ氏（日本大学芸術学部講師）

開催日	内容	参加人数
2月22日	音声の発声法 2人ひと組での体操、VTR・資料使用の説明	36
3月4日	音声の発声法 2人ひと組での体操、VTR・資料使用の説明	30

テーマ2「障がい者サービスの概要」

講師：山内薫氏（墨田区立あずま図書館司書）

開催日	内容	参加人数
3月9日	障がい者サービスの概要 障がい者サービスの歴史、今後の展開、取り組みについて	34

点訳体験講座

開催日 11月27日。点訳を体験することで、視覚障がい者の方の読書環境についての理解を深めていただくとともに、ボランティア活動参加へのきっかけとする。

視覚障がいについて関心のある方を対象に行った。この講座は年1回の開講で、親子の参加も多く見られた。点字グループ・アイのボランティアグループの共催により、活動の紹介、点訳についての講義、実際に簡易点字板にて点字を打って名刺を作成した。参加者は、一般5名、児童4人の計9名。

音訳資料の作成

録音図書、デージーを各7タイトル(文学作品4タイトル、葛飾区が記載されている旅行ガイド1タイトル、葛飾区についての情報冊子1タイトル、ラジオ番組表1タイトル)を作成した。

6 施設の概要

	中央図書館	立石図書館	お花茶屋図書館	上小松図書館	亀有図書館
創 立 年 月 日	H.21.10.17	S.24.1.10 (S.48.5.1 全面改築開館)	S.52.6.1	S.52.10.1	S.56.10.1
所 在 地	〒125-0042 金町6-2-1 ヴィナシス金町 ブライトコート3階       (有料)	〒124-0012 立石1-9-1 *立石サービスコーナー 〒124-0012 立石1-9-12   	〒124-0003 お花茶屋2-1-15   	〒124-0023 東新小岩 3-12-1 (都営住宅1階)  	〒125-0061 亀有1-17-5 (都営住宅1・2階)  
電 話 番 号	3607-9201	3696-4451	3690-7661	3696-7901	3690-1901
F A X 番 号	3607-9200	3696-3750	3838-5771	5698-1755	3838-5772
閲 覧 座 席 数	450 席	0 席	58 席	64 席	80 席
パソコン持込可能席	42 席	0 席	6 席	6 席	0 席
インターネットコーナー	14 席	0 席	2 席	2 席	2 席
敷 地 面 積		616.72 m ²	911.09 m ²		
延 床 面 積	5,077.85 m ² (図書館部分)	1,327.92 m ²	1,754.80 m ²	1,030.90 m ² (図書館部分)	1,472.60 m ² (図書館部分)
蔵 書 数	344,024 冊	46,372 冊	114,523 冊	108,495 冊	109,986 冊
(一 般 書)	(295,394 冊)	(32,530 冊)	(86,893 冊)	(83,490 冊)	(81,209 冊)
(児 童 書)	(48,630 冊)	(13,842 冊)	(27,630 冊)	(25,005 冊)	(28,777 冊)
雑 誌 タ イ ト ル 数	411 種	1 種	178 種	157 種	154 種
新 聞 購 読 数	35 種	0 種	13 種	15 種	13 種
A V 資 料 数	11,499 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕	2,384 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕	3,306 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕	4,310 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕	3,363 点 〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕
開 館 日 数	344 日	291 日	291 日	291 日	291 日
職 員 数	25 人	4 人	4 人	4 人	4 人
(司 書 ・ 司 書 補)	(3 人)	(1 人)	(2 人)	(1 人)	(2 人)
非 常 勤 職 員 数	8 人	23 人	12 人	11 人	12 人
(司 書 ・ 司 書 補)	(4 人)	(14 人)	(10 人)	(5 人)	(12 人)
委 託 職 員 数	46 人	0 人	0 人	0 人	0 人
(司 書 ・ 司 書 補)	(17 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)

* 司書・司書補は職員の内数。

* 閲覧席数・蔵書数・雑誌タイトル数・新聞購読数・AV資料数は平成23年4月1日現在。

* 職員数・非常勤職員数は平成23年4月1日現在、開館日数は平成22年度実績。







* 雑誌タイトル数・新聞購読数の合計欄の数は区立図書館の全タイトル数。

* 立石図書館は建替え工事のため平成21年3月から休館。代替として、立石サービスコーナーを開館。

蔵書数には、立石保管中も含む。

水元図書館	鎌倉図書館	四つ木地区図書館	西水元地区図書館	青戸地区図書館	新宿図書センター	合計
S.57.6.1	S.62.6.25	H.8.12.7 (中央図書館分館)	H.11.6.1 (中央図書館分館)	H.16.5.12 (中央図書館分館)	H.21.10.17 (中央図書館分館)	
〒125-0033 東水元1-7-3   	〒125-0053 鎌倉2-4-5 	〒124-0011 四つ木4-8-1 よつぎ小学校内 	〒125-0031 西水元2-2-8 西水元あやめ園内 	〒125-0062 青戸5-20-6 青戸地区センター内   	〒125-0051 新宿3-7-1     	
3627-3111	3650-7741	5670-3321	5660-2201	3838-1273	3607-9105	
3627-3114	5694-4421	5670-3422	5660-2203	3838-1269	3607-9209	
78 席	96 席	10 席	14 席	6 席	34 席	890 席
0 席	0 席	0 席	0 席	0 席	0 席	54 席
2 席	2 席	0 席	0 席	0 席	0 席	24 席
2,892.81 m ² (区の複合施設)	1,591.52 m ²				4,153.38 m ²	
1,735.00 m ² (図書館部分)	1,827.40 m ²	230.40 m ²	303.76 m ²	219.56 m ²	5,524.05 m ² (図書館部分は 2,406.53 m ²)	17,386.72 m ² (図書館部分)
100,318 冊 (73,073 冊) (27,245 冊)	109,946 冊 (82,817 冊) (27,129 冊)	37,574 冊 (24,760 冊) (12,814 冊)	37,417 冊 (23,901 冊) (13,516 冊)	32,988 冊 (20,545 冊) (12,443 冊)	51,816 冊 (23,276 冊) (28,540 冊)	1,093,459 冊 (827,888 冊) (265,571 冊)
174 種	147 種	67 種	61 種	74 種	51 種	736 種
14 種	13 種	8 種	8 種	9 種	8 種	48 種
3,323 点 〔CD・カセット・ ビデオ・DVD〕	3,734 点 〔CD・カセット・ ビデオ・DVD〕	1,522 点 〔CD・カセット・ ビデオ・DVD〕	1,455 点 〔CD・カセット・ ビデオ・DVD〕	1,411 点 〔CD・カセット・ ビデオ・DVD〕	692 点 〔CD・カセット・ ビデオ・DVD〕	36,999 点 〔CD・カセット・ ビデオ・DVD〕
290 日	291 日	279 日	279 日	279 日	278 日	- 日
4 人 (1 人)	4 人 (3 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	1 人 (0 人)	50 人 (13 人)
12 人 (8 人)	11 人 (10 人)	5 人 (0 人)	5 人 (2 人)	6 人 (3 人)	8 人 (7 人)	113 人 (75 人)
0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	0 人 (0 人)	46 人 (17 人)

* パソコンルーム・インターネットコーナーは閲覧席数の内数。

*  だれでもトイレ  おむつ台  ベビーキープ
 授乳室  エレベーター  駐車場

7 事業の概要

(1) 一般サービス

図書の貸し出し

図書の貸し出しは、区内に在住・在勤・在学及び葛飾区に隣接している区・市に在住し、「利用カード」の交付を受けている方が対象。「利用カード」は、区内全 11 館で共通に利用できる。

貸し出しや検索等は、オンラインのコンピューターシステムにより行われている。貸出期間は 2 週間、貸出冊数は図書、雑誌合わせて 30 冊まで。

平成 21 年 9 月に各地域館、10 月に中央図書館に自動貸出機を設置。中央図書館には自動返却仕分機と予約棚も導入した。予約棚は、利用者自身で予約本を受け取る仕組みになっている。書架ナビ(書架案内パソコン)から予約資料の置いてある棚を確認し、職員を介さずに予約資料の受け取りをすることができる。

閲覧

館内では、自由に図書を閲覧できるようになっているほか、コピーサービスも行っている。館内での閲覧には、住所要件などの利用制限はなく、誰でも自由に利用できる。

また、各館には参考図書(調べものの本)コーナーや新聞・雑誌コーナーが設けられている。中央図書館では閲覧室 1・2 のほか、利用カード登録者が自分で予約する個人閲覧席 42 席、インターネットやデータベースを利用できる席が 9 席ある。

予約・リクエストサービス

1. 予約・リクエストサービス

図書館の蔵書には限度があり、その中で利用者の資料要求に応えるために予約・リクエストサービスがある。利用者の求める資料が貸出中、または自館で所蔵していない場合、20 冊を限度に予約・リクエストとして受け付け、主に次のような方法で提供している。

区内で所蔵している資料については、予約をいただき他の館から取り寄せ、到着後予約者に連絡している。なお、図書・AV 資料等の運搬には専用の交換車が毎日運行している。

区内未所蔵資料については、他区・市の図書館や都立図書館(館内閲覧の場合あり)・国会図書館(館内閲覧のみ)などから借りて提供するほか、選定会で検討し、購入して提供している。(ただし、他自治体からの取り寄せ、新規購入のリクエストサービスについては、近隣市在住の方には提供していない)いずれの提供方法も CD・カセット・ビデオ・DVD・漫画は提供していない。

2. 館内検索機(OPAC)及びインターネットサービスを用いた予約・リクエストサービス

館内検索機(OPAC)及び図書館ホームページからも予約・リクエストサービスを受け付けている。ただし未所蔵資料については、3 冊を限度とし、区内在住で中学生以上の方のみ予約を受け付けている。未所蔵の CD・カセット・ビデオ・DVD・漫画の提供はしていない。

レファレンスサービス

レファレンスとは、図書館に来館する利用者の様々な相談に応じることである。このレファレンス業務は、図書の貸し出しと並ぶ図書館の重要な業務である。

例えば、「老人介護のことについて調べたい」あるいは、「オリンピックの歴史を知りたい」といった質問に対し、インターネット検索や図書資料を探して提供することで、利用者の要求に応じている。また、図書館ホームページ上からもレファレンスを受け付けている。レファレンスの回答が用意できた旨をメールでお知らせし、回答については図書館ホームページの個人ログインページにて閲覧する。

(2)児童サービス

児童サービスは子どもが読書を通じて読解力や想像力、思考力、表現力等の生きる力を育み、多くの知識を得ることができるように読書推進していくことを目的として、さまざまな事業を実施するとともに、図書館が勧める各年代に合った図書リストを発行している。

また、子どもに関わる機関や団体と連携し、読書推進するボランティアの育成をするなど、読書活動の普及、啓発を行っている。

平成 13 年 12 月策定の「子ども読書活動の推進に関する法律」を受け、東京都が平成 15 年 3 月に「東京都子供読書活動推進計画」を策定した。

国の法律を受け、平成 14 年 6 月には葛飾図書館で「読み聞かせボランティア講座(初級)」を開始した。翌年には隔年で中級講座を開始し、学校図書ボランティアの育成に力を注いでいる。

葛飾区では平成 17 年 5 月に「葛飾区子ども読書活動推進計画」を策定した。計画を推進するために、平成 17 年 8 月から、赤ちゃんと保護者が絵本を通して楽しい時間が持てるよう「ブックスタート」事業を開始した。平成 18 年 4 月からは、各保健所、保健センターで実施される3、4ヶ月検診時に実施した。また区内の小・中学校との連携として、各ブロックで連絡会も活発に行われ、団体貸出のための配送車の利用も増えている。

平成 12 年に実施した上小松図書館の「小さい子のためのおはなし会」は、平成 15 年に名称を「おひざにだっこのおはなし会」と統一した。平成 17 年から葛飾区で始まった「ブックスタート」のフォロー事業として認識されるようになった。「おひざにだっこのおはなし会」では、赤ちゃんと保護者に向けておはなし会を実施した。

中央図書館の開館に伴い、子ども読書活動に関わるボランティアの活動も活発になり、図書館の見学等も増えている。平成 21 年 3 月に東京都が「第二次東京都子供読書推進計画」を策定し、葛飾区においても第二次計画の検討を開始した。

(3)ヤングアダルト(YA)サービス

小学校高学年から青年期の「大人と子ども」の境界にいる世代を YA(ヤングアダルト)と位置付け「読書の楽しみ」を知ってもらうこと、様々な資料を使い問題を解決していく力を身につけてもらうことを目的として、この世代に向けたサービスを行っている。

平成 16 年 6 月に出された「葛飾区社会教育委員の会議」(青少年が読書に親しむ環境

を整備するために)の答申では、区立図書館における中・高校生世代の利用の促進が大きな課題となっており、中・高校生世代の居場所として図書館の YA コーナーの充実が期待されている。

サービスとしては、YA 世代向けの本のリスト「Dog Ears」(ドッグイアーズ)の作成及び配布を行った。学校での読書活動促進のための団体貸出の充実。YA 世代向けホームページの作成。「中学生向け図書館利用案内」を作成し「総合的な学習の時間」などでより有効に図書館を活用してもらうための案内などを行った。

各館では、中学校の団体利用、職場体験、ボランティアの受け入れ、ブックトーク(テーマに沿った本の紹介)の実施、学校図書館支援指導員との交流や情報交換など様々な形で学校との連携を図っている。また、各館独自に YA 世代に向けての情報誌などを作成し、配布している。

(4)視聴覚(AV)サービス

視聴覚サービスとして CD(コンパクト・ディスク)・カセットテープ・DVD の貸し出しを行っている。貸出対象は中学生以上、貸出期間は2週間、貸出点数はCD・カセット合せて4点まで、DVD は1点までとしている。16 ミリフィルムの貸し出しの事業は21 年度をもって終了した。

中央図書館では隔月で第3 土曜日午後には映画会を実施した。お花茶屋、上小松、亀有、鎌倉図書館では、月1 回映画会を実施した。

(5)インターネットサービス

図書館ホームページでは、利用案内、行事予定、ベストリーダー、ベストオーダーなど図書館の様々な情報を提供している。各種情報提供はもちろんのこと、その他以下のサービスを提供している。

資料の検索、予約

インターネット上で図書館資料を検索し、検索した資料をそのまま予約することができる。また、区内図書館未所蔵資料の検索もでき、区内在住の利用者のみ、未所蔵資料へ3 件まで予約ができる。さらに、検索した資料をまとめて予約をする機能である予約かごを使った予約サービスも提供している。

ただし、個人情報を保護するため、資料の予約や個人情報の確認には、パスワードの登録が必要となる。パスワードは各図書館の窓口で直接本人に交付する。(窓口で仮パスワードを交付し、利用者が館内端末機やホームページでパスワードを変更し、利用する。)

メールサービス

予約した資料が到着した連絡をする「予約確保連絡メール」、延滞の方へ送信する「督促連絡メール」がある。また、利用者の希望に応じて送信する「貸出情報お知らせサービス」、「返却期限お知らせサービス」、「新着図書お知らせサービス」、「メールマガジン送付サービス」があり、「メールマガジン送付サービス」は、パソコン版、携帯版を選択することができる。新着図書お知らせサービスでは、利用

者が希望する新着図書をキーワード、分類から選んで登録ができる。

レファレンスサービス

ホームページ上からメールレファレンスの受け付けを行っている。メールレファレンスの回答が用意できた旨をメールでお知らせし、回答については図書館ホームページの個人ログインページにて閲覧する。

利用者登録事前申請

区内在住の方を対象に利用登録申請を事前にインターネット上で受け付けする。この登録を行うと、本登録を行う前に、3 件まで区内所蔵資料への予約ができ、本登録の際に、予約した資料が用意できていれば、本登録と同時に予約した資料を受け取ることができる。

館内でのインターネットサービス

中央図書館の開館に合わせ、中央図書館では、座席管理システムを導入し、従来の調査・研究支援サービスを強化するだけでなく、商用データベースの拡充を行うことで、ビジネス支援サービスの強化を図っている。また、一般コーナーでも検索コーナーを設置し、短時間のインターネット検索用のパソコンを設けている。児童コーナーにおいても、児童向けにカスタマイズされたインターネット検索用端末と、調べ学習用のデータベースがある。

各地域館においても、利用者用のインターネット検索用のパソコンを配置している。また、商用データベースを拡充し、調査・研究のためのインターネットサービスを行っている。

(6) 団体サービス

登録をした団体に1ヶ月間、本50冊を限度に貸し出しをしている。予約やレファレンスも一般と同様に行っている。

このサービスは、一般向けの団体はもちろんのこと、地域文庫や幼稚園・保育園・学校・読み聞かせボランティアグループなど子どもの読書推進に関わる施設、自主グループの図書館資料のバックアップを行う。学校図書館への団体貸出については、平成17年度より配送車を継続して運行している。

新宿図書館センターの一部に学校団体配送エリアを整備し、図書館と学校をつなぐ配送ルートを設定し、車両を借り上げ、効率的な図書の流通を図るシステムを作り上げていく。

学校団体配送エリアは、区立図書館と学校への図書資料の集配流通拠点と学校配送図書のストックヤードとしての機能を併せ持ち、どこの地域館からでも簡便に資料を取り寄せることを可能とし、子どもの調べ学習などにも対応できるサービスの提供を可能にしていく。

登録対象

代表者が葛飾区内に在住する読書サークル、地域文庫、朗読ボランティアグループなどの図書館関連団体。

団体用図書

長期休み期間を除く毎週、小・中学校へ図書運搬車を運行し団体貸出用図書を配送する。また、各学校図書館の補助的役割を果たす、小・中学校向け「調べ学習用」「読書活動用」のパックを作成し、団体貸出用パックの充実を図る。

(7)障がい者サービス

葛飾区では、目や肢体等が不自由なため図書館の利用が困難な方を対象に次のようなサービスを行っている。

対面朗読

利用者からの申し込みにより、図書館が音訳ボランティアに依頼をし、その利用者を最寄りの図書館または、自宅等で資料を朗読している。1回の利用時間は2時間以内で、月4回までである。また、中央図書館と新宿図書センターには、対面朗読室がある。

録音図書の作成及び収集

文字で書かれた資料を音訳して、カセットテープやCD(デジジー)に録音したものを、録音図書という。作成は中央図書館で内容を確認し、作成を音訳ボランティア団体に委託している。また、市販のCDやデジジーの収集にも力を入れている。

点字図書の収集

点字図書は、日本点字図書館から購入したもののほか、区内の点訳グループが作成し、寄贈を受けた点字図書も所蔵している。

点訳絵本、布絵本の収集

点訳絵本には、区内の点訳ボランティアグループが作成し、市販の絵本に点訳を行っている。布絵本は、区内の布絵本ボランティアグループに作成を委託している。

郵送および宅配サービス

点字図書や音訳資料などの図書館資料の貸し出しについては、視覚障がい者の方から電話にて申し込みを受け、郵送(第四種郵便物扱い)を行っている。

肢体不自由の方、高齢で図書館に来館することが困難な方に対してはご希望により、職員が宅配をしている。

点字版資料リストの作成

中央図書館では、ハンディキャップコーナーに『点字図書資料リスト』、『朗読CDリスト』の点字版を作成し、提供している。

プレックストーク、点字及び録音図書の貸し出し

視覚障がい者の方には、点字図書及び録音図書(録音カセットやデジジー図書:CDにデジタル録音された図書で、1枚のCDに20時間以上録音でき、検索も簡易)と専用再生機であるプレックストークを1ヵ月貸し出ししている。点字図書館及び録音図書に関しては区内に所蔵していない場合、全国の点字図書館等から取り寄せ視覚障がい者の方の要望に応じている。

音訳者養成講座の実施

区内で活動している音訳ボランティア向けに、年に各1回、音訳ボランティア(中級・上級)講座を実施している。

四者懇談会

利用者、ガイドヘルパー、ボランティア(音訳・点訳)、図書館員の四者が集い、情報交換を行い相互理解を深めながら、サービスの向上を図っている。

拡大写本について

拡大写本のコーナーをお花茶屋図書館内に設置した。さらに、機関誌『トピックス』を作成し、中央図書館と各地域館に配布している。各地域館で図書館カレンダーを拡大する等、利用しやすいよう工夫している。

(8) 広報活動

図書館の行事、利用案内などを「広報かつしか」に掲載しているほか、平成 22 年度は以下のような印刷物を作成し、広報活動を行った。

(一般対象)

印刷物名	作成・配布館	発行回数	発行部数
館報「としょかん だより」	各館共通	年 1 回	16,000 部
事業年報	各館共通	年 1 回	250 部
雑誌・新聞目録	各館共通	年 1 回	70 部
図書館行事案内	各館共通	毎月 1 回	各館必要部数
各館だより(一般向け)	各館独自	館により 月刊・隔月・季刊	各館 100～200 部
各館だより(ヤングアダルト向け)	各館独自	館により 月刊・隔月・季刊	各館 150～200 部
ヤングアダルト図書リスト 「Dog Ears(ドッグイアーズ)」	各館共通	年 1 回	18,000 部
平成 22 年度用図書館カレンダー	各館共通	年 1 回	66,000 部

(児童対象)

印刷物名	作成・配布館	発行回数	発行部数
夏休み推せん図書リスト 「むぎわらぼうし」 (1,2 年・3,4 年・5,6 年用の 3 種類)	全館共通	年 1 回	(3 種類× 9,000 部) 27,000 部
1 年生リスト 「いちねんせいになったらよんでみよう」	全館共通	年 1 回	7,000 部
児童室だより	各館独自	館により 月刊・隔月・季刊	各館 150～350 部
ライブラリー・インフォメーション 小・中学校先生向け利用案内	全館共通	年 1 回	1,000 部
図書館見学・学級招待時の配布資料	各館独自	年 1 回	各館必要部数
ほんはともだち	全館共通	隔年	15,000 部
ファーストブック	全館共通	隔年	10,000 部

(9) 自主活動グループの支援

一般の方々の団体

文学研究・郷土史研究・読書に関わるボランティアをしている団体など自主学習活動を行っているグループに対して、会議室や点字プリンター他ボランティア活動に必要な機器の利用貸出等、学習環境の整備や様々な活動の支援を行っている。

子どもの読書活動に関わる団体

子どもの読書活動を進める上で、読み聞かせグループや学校での読書活動を推進するボランティアの活動を推進している。

これらのボランティアグループが子どもの読書推進において地域の力として積極的に活かせるよう支援している。

(10) リサイクルコーナー

図書館で除籍した本・雑誌や区民が不用になった本(リサイクル本)を無料提供することで図書の再利用を図っている。各館リサイクルコーナーを設けて、随時リサイクル本を提供している。

また、児童図書資料のリサイクル本に関しては、区内の児童館、幼稚園、保育園、小学校、中学校、支援学校等の子どもに関わる施設に配布し、児童図書充実のための支援を行っている。

(11) 学校との連携・学校図書館支援

子どもの読書活動の普及・推進や学校図書館の支援を目的に、小学校・中学校の学校図書館司書教諭及び学校図書館支援指導員と図書館職員、学校図書館で活動するボランティアグループとの連絡会を地域館ごとに立ち上げ、情報交換や連絡調整を平成 16 年度から継続して行っている。

区立図書館は ICT 等を利用して学校図書館との連携を強化し、蔵書のサポートを行うほか、読書活動、教員への教材アドバイスや学校図書館支援指導員の研修・フォロー、ボランティアの養成などを学校と密に連絡を取り合いながら協力体制をつくり、サポートをしていく。

また、学校図書館支援指導員と図書館ボランティアへの研修や教員研修の中で、読書活動に関する内容を学び、区立図書館での実習を実施する。

(12) 学校図書館ボランティアへの支援

平成 14 年より、主に小学校などで読み聞かせを行っている読書ボランティアに「読み聞かせボランティア講座(初級)」を開始し、読書活動への支援の場とした。

平成 16 年より「葛飾学校図書館ボランティア連絡会」が発足し、ボランティア同士の情報交換・読み聞かせや読書活動についての技術や資質向上・学校図書館の機能についての学び・中学校の課題をテーマに研修会や学習会を重ね、平成 17 年からは、「子ども夢基金」の助成を受けフォーラムや講演会などを開催している。

図書館は、個々のボランティアを支援していくとともに、連絡会に対しても情報や

資料の提供などで支援している。

(13) ビジネス支援サービス

起業・新規事業設立に関する情報、ビジネスパーソンのスキルアップ、中小企業経営者・従事者に関する情報、就職・転職を目指す方への支援など、働く世代の課題解決を支援する情報提供を行った。

- ・ビジネス支援コーナーを設置。効率よく資料を探せるよう、またビジネス支援サービスを PR するために、出版年の新しい資料や、基本的な資料を 9 つのテーマのもとに配架。(中央図書館・お花茶屋図書館・亀有図書館)
- ・インターネットが利用できるパソコンの設置。(中央図書館・お花茶屋図書館・上小松図書館・亀有図書館・水元図書館・鎌倉図書館)
- ・持ち込みパソコンが利用できる席を設置。(中央図書館・お花茶屋図書館・上小松図書館)
- ・商用データベースを導入し無料で提供。(中央図書館 11 種、他パソコン設定館で 1～2 種)
- ・利用できるデータベースは以下の通り。

中央図書館	朝日新聞聞蔵 ビジュアル for Libraries
	日経テレコン 21
	ヨミダス歴史館
	D1-Law.com(判例体系全法編・法律判例文献情報・履歴検索)
	LexisNexis
	人物文献情報 WHOPLUS, 雑誌・論文情報 MAGAZINEPLUS
	官報情報検索サービス
	JapanKnowledge+
	Jdream
	Mpac(マーケティング情報パック)
	ポプラディアネット
お花茶屋図書館	日経テレコン 21
	WHOPLUS
上小松図書館	聞蔵 DNA for Library(朝日新聞記事検索)
亀有図書館	ヨミダス文書館(読売新聞記事検索)
水元図書館	聞蔵 DNA for Library(朝日新聞記事検索)
鎌倉図書館	ヨミダス文書館(読売新聞記事検索)

- ・月ごとにテーマを変えて、ビジネス支援関連図書を集集展示。(中央図書館)
- ・中小企業庁ほか他行政機関等によるビジネス支援に関するパンフレットを配布。
- ・毎月第 3 土曜日の午後、中小企業診断士による「ビジネス相談会」を実施。(中央図書館)
- ・ビジネス関連のテーマでセミナーを開催。

(14) 図書館員のための新任研修・現任研修

公立図書館職員としての資質向上のための研修を実施している。

新任研修は、新しく図書館職員となった職員を対象に、ベテラン職員が講師となって「図書館員としての心構え」「図書館システム」からはじまり図書館の全般的な業務のほか、児童、障害者、レファレンス、YAなど分野別にサービスの講義や実習など年4回実施した。

現任研修は、図書館運営やサービスに求められるテーマを決め実施している。今年度は外部から講師を招き、「知的・精神疾患をもった利用者への対応」と「危機管理～法律の観点から見た利用者対応」の2回行った。

(15) 図書館海援隊

平成22年1月5日に文部科学省が立ち上げた「図書館海援隊プロジェクト（図書館による貧困・困窮者支援）」に賛同し、平成22年2月にプロジェクトへの参加表明をした。（中央図書館）

（「図書館海援隊」は有志の公立図書館が、関係部局と連携しながら、課題解決支援サービスの一環として、貧困・困窮者に対する支援を行ってゆこうとするもので、来館者に対する情報提供を発展させ、地域が抱える様々な課題に対する解決支援サービスを実施していこうとするものである。）

- ・「ビジネスコーナー」内に＜就職活動＞＜資格試験＞の見出しのもと、各種業種、会社情報、履歴書・エントリーシートの書き方、面接の受け方、資格検定試験等のテキストを配架し、提供。
- ・「ビジネスコーナー」内に＜起業・開業＞の見出しのもと、開業のための基本的な案内書や様々な業種の開業紹介本を配架し、提供。
- ・厚生労働省緊急人材育成支援事業の関連で、雇用保険を受給していない方へ、就労の役に立つ資格取得援助として、各種・専門学校の資格取得講座案内のチラシを、ハローワーク経由で収集し、提供。
- ・「ビジネスITコーナー」でハローワークインターネットサービスへのリンクを設置。また商用データベースの無料提供により、記事検索やマーケティング情報検索によるビジネス情報を提供。
- ・「暮らしに役立つ法律情報コーナー」を設置。12のテーマのもとに身近な法情報関連図書を配架し、労働・生活に関するトラブル解決に役立つ図書等を提供。
- ・「暮らしに役立つ法律情報コーナー」において、日本司法支援センター「法テラス」発行の法的トラブル解決に役立つテーマ別のリーフレットを配架し、提供。

(16) 葛飾図書館友の会

「中央図書館開設懇談会」の有志が平成 19 年 5 月に(仮称)図書館友の会準備会を発足。図書館ボランティア基礎講座を開催し、図書館について学びながら平成 20 年 5 月に「葛飾図書館友の会」を設立した。

当初、総務委員会・広報委員会・事業委員会の三つの委員会で活動開始。

平成 21 年に、中央館開館イベントとして「友の会ウィーク」(10/31～11/7)を実施。区内で読書活動する 28 団体が参加し、1,724 名の参加者があった。

平成 22 年に一周年「友の会ウィーク」(11/1～11/13)を開催。450 名の参加者があった。

(17) 国民読書年における事業

平成 21 年の国民読書年として実施した事業は以下のとおり。

YA 企画は、全館共通での企画として、以下の事業を行った。

・はてなぶっくす？

開催日：5 月 27 日～6 月 27 日、参加者数：208 名

・シールラリー / シールを集めて、イラスト完成！図書館シールラリー

開催日：7 月 20 日～8 月 25 日、参加者数：190 名

・特別企画アンケート

10 代が大人にオススメする 1 冊 / 大人が 10 代にオススメする 1 冊

開催日：8 月 1 日～9 月 30 日、参加者数：515 名

アンケート結果については、開催日以降にホームページにて公開。

中央図書館では、児童企画、一般企画の事業を行った。

児童企画

・赤ちゃん向けブックトーク(中央図書館一周年記念行事と合同企画)

開催日：6 月 10 日、参加者数：34 名

・うたのおはなし会(中央図書館一周年記念行事と合同企画)

開催日：6 月 27 日、参加者数：29 名

・むぎわらぼうしクイズ(中央図書館一周年記念行事と合同企画)

開催日：10 月 17 日～11 月 24 日、参加者数：133 名

・いろんなことばのおはなし会 / フランス語・ドイツ語・中国語・英語
(中央図書館一周年記念行事と合同企画)

開催日：10 月 17 日、参加者数：68 名

一般企画

・ブック・シェア

開催日：7 月 22 日～好評につき実施中

・出張ブックトーク

開催日：10 月 17 日

- ・葛飾コレクション図録の作成(中央図書館一周年記念行事と合同企画)
2011年3月刊行
- ・ビジネスセミナー(中央図書館一周年記念行事と合同企画)
 - 第1回「夢を実現!創業の基礎知識を学ぶ」/起業セミナー
開催日:10月27日、参加者数:34名
 - 第2回「今さら聞けない!経理・マーケティング情報」/経営・マーケティング
開催日:11月6日、参加者数:29名

(18)東日本大震災発生時の対応及び取り組み

3月11日に発生した東日本大震災の対応は以下のとおり。

- 3月11日(金曜日) 東日本大震災発生。
図書館内の被害状況確認のため、全図書館を17時で閉館。
- 3月12日(土曜日) 翌日の開館に向け全図書館施設安全点検のため休館。
- 3月13日(日曜日) 安全点検を完了し通常通り開館することを決定。
各図書館で地震・防災に関する資料を特集し、展示を行う。
12日の休館に伴い、資料の取り置き期限が3月11日・12日までの利用者の方の資料を、15日まで取り置き期限を延長。
- 3月14日(月曜日) 地震発生に伴う省エネ・節電のため、中央図書館を17時で閉館。
取り置き期限延長を15日から16日に延長。
- 3月15日(火曜日) 地震発生に伴う省エネ・節電のため、全図書館を当面の間、開館時間を17時まで短縮する縮小開館を決定。
災害発生時の安全を考慮し、各図書館で以下の行事中止を決定。
中央図書館 3月19日 一般映画会
上小松図書館 3月19日 一般映画会
水元図書館 3月16日 科学絵本・工作の会
- 3月17日(木曜日) 縮小開館に伴い、資料の取り置き期限が3月11日から3月18日までの利用者の方の資料を、18日まで取り置き期限を延長。

- 3月18日(金曜日) 災害発生時の安全を考慮し、各図書館で以下の行事中止を決定。
- 中央図書館 3月26日 暮らしに役立つ法律セミナー「相続・遺言・成年後見」
- お花茶屋図書館 3月19日 おはなし会
- お花茶屋図書館 3月26日 絵本の読み聞かせ
- 鎌倉図書館 3月27日 一般映画会
- 青戸地区図書館 3月26日 春休みおはなし会(幼児向け、小学生以下向けのどちらも中止)
- 新宿図書センター 3月19日 おはなし会
- 3月19日(土曜日) 災害発生時の安全を考慮し、中央図書館・西水元地区図書館で以下の行事中止を決定。
- 中央図書館 3月20日 いろんなことばのおはなし会 第2弾
- 西水元地区図書館 3月26日 おはなし会
- 3月23日(水曜日) 震災の影響で、葛飾区内の避難所や、親戚、知人宅等に身を寄せている方の利用登録を開始。
- 3月25日(金曜日) 水元学び交流館への団体貸出と読み聞かせを実施。
約50冊の資料を貸し出した。読み聞かせの参加者数は一般5名、児童6名だった。
- 3月30日(水曜日) 水元学び交流館への団体貸出を実施。
約80冊の資料を貸し出した。

8 行事实績

(1) 中央図書館 一周年記念イベント

一般講演会

開催日	内容(テーマ)	講師	参加人数
10月30日	ノンフィクション作家が生まれるまで	佐野真一氏(ノンフィクション作家)	50
10月31日	葛飾の飲食文化～もつ焼きとハイボール～	谷口栄氏(郷土と天文の博物館学芸員)	30
合計			80

児童講演会

開催日	内容(テーマ)	講師	参加人数
10月23日	ももんちゃんよりおめでとう	とよたかずひこ氏(絵本作家)	66
10月24日	絵本に学ぶ可愛がり	松井るり子氏(児童文学作家)	30
合計			96

ビジネスセミナー

開催日	内容(テーマ)	講師	参加人数
10月27日	夢を実現！創業の基礎知識を学ぶ	森尾浩司氏(中小企業診断士)	34
11月6日	今さら聞けない！経理・マーケティング情報	入山央氏(中小企業診断士)	29
合計			63

外国語のおはなし会

開催日	時間	対象	参加人数
10月17日	15時30分～16時30分	児童及び保護者	68
合計			68

おはなし会

開催日	時間	対象	参加人数
10月20日	15時30分～16時	児童及び保護者	30
10月30日	15時30分～16時	児童及び保護者	29
合計			59

おひざにだっこのおはなし会

開催日	時間	対象	参加人数
10月17日	10時30分～11時	幼児及び保護者	26
10月20日	10時30分～11時	幼児及び保護者	22
10月30日	10時30分～11時	幼児及び保護者	13
合計			61

(2) 一般室主催行事

映画会

おもに中学生以上を対象とし、名作・芸術映画・文学作品などを上映した。

	中央	お花茶屋	上小松	亀有	鎌倉	合計
回数	5	11	11	11	5	43
参加人数	320	348	281	306	145	1,400

ビジネス支援講演会

ビジネスのスキルアップに役立つセミナーを講師を招いて開催した。

館名	開催日	内容(テーマ)	講師	参加人数
中央	7月2日 7月9日	学ぼう！ 特許電子図書館	山口英彦氏(東京都知的財産総合センター 特許情報活用支援アドバイザー)	17
中央	2月5日	第1回ビジネスセミナー 「プレゼン上達術 要点のまとめ方の コツを知る」	池田千恵氏(図解化コンサルタント)	48
中央	2月12日	第2回ビジネスセミナー 「身近な企業から学ぶ会計 吉野家・スター バックス・マクドナルドを事例に」	望月実氏(公認会計士)	45
中央	2月23日	第3回ビジネスセミナー 「売れる手書きPOPのルール」	今野良香氏(経営コンサルタント、 船井総合研究研員)	29
合計				139

データベース講習会

データベース利用促進及びビジネス支援、並びに学習支援を目的として開催した。

館名	開催日	内容(テーマ)	講師	参加人数
中央	6月25日	Mpac(マーケティング情報パック) ショートセミナー	椎野由大氏(富士グローバルネットワーク)	15
中央	8月5日	ヨミダス歴史館データベース検索セミナー	井藤文也氏(読売新聞データベース部)	12
中央	12月4日	ジャパン・ナレッジ操作セミナー	山本京子氏(ネットアドバンス)	18
中央	2月24日	科学技術関連データベース研修	楠哲二氏(紀伊國屋書店) 川井千香子氏(独立行政法人科学技術振興機構)	20
合計				65

ビジネス相談会

ビジネス支援サービスの一環として、中小企業診断士による起業・開業・経営改善等の相談会を実施した。

回 期	開催日	会場	参加人数	回 期	開催日	会場	参加人数
第1回	4月17日	中央	6	第7回	10月16日	中央	2
第2回	5月15日	中央	4	第8回	11月20日	中央	1
第3回	6月19日	中央	2	第9回	12月18日	中央	1
第4回	7月17日	中央	4	第10回	1月15日	中央	3
第5回	8月21日	中央	4	第11回	2月19日	中央	4
第6回	9月18日	中央	3	第12回	3月19日	中央	5
合計							39

(3) 児童室主催行事

子ども映画会

子どもたちが本や図書館に興味を持つことを目的に、児童書を原作とする映画や名作アニメなどを上映した。

	中央	お花茶屋	上小松	亀有	鎌倉	合計
回数	4	11	11	11	6	43
参加人数	178	247	217	190	81	913

おはなし会

子どもと本を結びつける手段として、「おはなし会」を行った。

また、まだ小さい子どもたちでも楽しめるよう、絵本の読み聞かせを中心にした「絵本読み聞かせ」、わらべうたなども取り入れ、0～3歳くらいの子と保護者の方を対象にした「おひざにだっこのおはなし会」など、対象別におはなし会を開催した。

おはなし会

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	西水元	新宿	合計
回数	21	12	20	20	20	8	19	7	7	134
参加人数	596	145	280	303	280	68	236	126	73	2,107

絵本読み聞かせ

	中央	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	新宿	合計
回数	379	22	25	50	36	50	8	570
参加人数	3,785	195	234	365	321	528	59	5,487

おひざにだっこのおはなし会

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	青戸	新宿	合計
回数	23	22	44	57	23	12	11	12	7	211
参加人数	978	286	1,667	993	455	231	218	254	99	5,181

特別おはなし会(夏のこわいおはなし会、クリスマスのおはなし会など)

	中央	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	西水元	青戸	合計
回数	10	2	2	3	3	2	2	4	28
参加人数	180	36	60	57	41	64	48	70	556

「子ども読書の日」記念おはなし会

4月23日の「子ども読書の日」及び5月12日までの「子どもの読書週間」に、より本に親しんでもらうために、おはなし会のほか、記念行事として「行ってみたいこんな図書館」の募集を行い、優秀作品は表彰の後に全館を巡回展示した。

	中央	上小松	亀有	水元	鎌倉	西水元	青戸	新宿	合計
回数	1	1	1	1	1	1	2	1	9
参加人数	35	16	356	31	20	12	38	14	522

人形劇

ボランティアグループの人形劇団による名作などの上演を通して、本への関心を高めてもらうきっかけづくりを児童館やボランティアグループとの共催により実施した。

館名	開催日	内容	劇団名	参加人数
お花茶屋	10月2日	アナンシと五 他	くるま座(ボランティア)	24
水元	10月24日	おはながわらった 他	柴又おはなしこりん(ボランティアグループ)	96
西水元	12月11日	おはながわらった 他	柴又おはなしこりん(ボランティアグループ)	14

保育園・幼稚園招待・訪問

保育園・幼稚園児を図書館に招待又は訪問し、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング、パネルシアターなどで本の紹介をし、団体貸出なども行い、本に親しむ機会を作った。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計
回数	29	34	52	81	58	56	42	38	10	33	20	453
参加人数	686	1,449	1,678	2,551	1,378	1,506	1,230	830	266	992	860	13,426

児童館訪問

児童館に集まる子どもたちを対象に、本の読み聞かせや紙芝居などを行った。

	立石	お花茶屋	上小松	亀有	鎌倉	西水元	青戸	合計
回数	1	17	15	3	6	3	3	48
参加人数	50	622	493	87	196	97	171	1,716

学級招待

小学校2・3年生を対象に学級単位で図書館に招待し、館内見学、ブックトーク(本の紹介)などを行い、本に親しむ機会を作った。

	中央	お花茶屋	上小松	水元	鎌倉	四つ木	西水元	合計
回数	1	2	2	8	3	4	4	24
参加人数	48	137	137	562	167	163	138	1,352

学級・学校訪問、YAブックトーク

学校に訪問し、学級や学校単位で図書館の利用方法について説明し、ブックトーク(本の紹介)や読み聞かせなどを行い、本に親しむ機会を作った。

学級・学校訪問

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	合計
回数	11	3	1	4	16	2	2	29	1	69
参加人数	431	165	67	367	646	48	122	1,111	16	2,973

YAブックトーク

	中央	上小松	亀有	水元	鎌倉	青戸	合計
回数	1	4	2	1	1	1	10
参加人数	34	520	258	166	112	38	1,128

職場体験・図書館見学

図書館の仕事の体験や見学を通して、図書館への理解を深めてもらうとともに、本に親しむ機会を作った。

職場体験

	中央	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	青戸	合計
回数	9	5	5	4	4	5	1	33
参加人数	33	13	10	15	14	16	2	103

図書館見学

	中央	上小松	鎌倉	青戸	新宿	合計
回数	10	2	1	1	1	15
参加人数	491	137	12	83	49	772

一日図書館員

小学4～6年生を対象に、図書の受入・装備、カウンター業務(資料の貸出・返却・配架)などの図書館の仕事を経験することにより、図書館への関心を深め、本に親しむ機会を作った。

四つ木、西水元、青戸、新宿図書センターの各地区図書館は、1日間だけ実施した。

	中央	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計
回数	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	22
参加人数	25	24	24	24	23	24	5	5	4	2	160

保健所訪問・招待

乳幼児健診等で保健所・各保健センターに集まった保護者を対象に、保健所・保健センターや図書館で乳幼児からの絵本の読み聞かせについての話や絵本の紹介を行った。

	中央	水元	鎌倉	合計
回数	12	12	6	30
参加人数	301	253	118	672

読み聞かせボランティア講座

読み聞かせボランティア講座(初級編)

幼稚園・保育園・小学校などで読み聞かせをしている方、又はする予定のある方を対象に子どもの読書活動を推進するボランティアを養成するため、読み聞かせ講座を開催した。

	開催日	会場	内容	参加人数
第1回	5月15日	中央	「読み聞かせ」-幸福なひと時をみんなで- 講師 伊藤明美氏(浦安市立中央図書館司書)	50 (22)
第2回	5月19日	中央	ボランティア経験者のお話と実演・読み聞かせ指導 講師 読み聞かせの会「きびだんご」・「ひよこの会」	22
第3回	5月26日	中央	読み聞かせ指導・発表準備	23
第4回	6月9日	中央	受講生による発表会	22

* 第1回の公開講座の()の数は、参加人数の内の受講者数

読み聞かせボランティア講座(中級編)

読み聞かせボランティア講座(初級)修了生のレベルアップを図るとともに、現在読み聞かせを行っている区民の技術向上を図るため講座を開催した。

	開催日	会場	内容	参加人数
第1回	9月19日	中央	「子どもの育ちを支える読書」 講師 脇明子氏(ノートルダム清心女子大学教授)	60 (14)
第2回	10月8日	中央	「おはなしとは」 講師 湯沢朱美氏	30
第3回	10月29日	中央	「おはなしの実習を中心に」 講師 湯沢朱美氏	30
第4回	11月12日	中央	受講生によるおはなし会の発表会	17

* 第1回の公開講座の()の数は、参加人数の内の受講者数

ブックスタート

赤ちゃんと保護者が絵本を介して言葉と心を通わず、そのかけがえのないひとときを応援する事業。

ブックスタートパックの配布

絵本、イラストアドバイス集などの入った「ブックスタートパック」を手渡し、絵本の読み聞かせを行った。

平成18年4月から、保健所・各保健センターで実施される3・4ヶ月健診で行っている。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合計
回数	24	16	12	12	17	15	12	108
パック配布数	850	540	434	419	535	489	355	3,622

ブックスタート公開講座

区内のブックスタートボランティアの方、地域の子育て支援に関心のある方を対象にブックスタート公開講座を行った。

開催日	会場	内容	参加人数
1月22日	中央	「ことばの種をまく」～赤ちゃん絵本とわらべ歌～ 講師 金澤和子氏(横浜市 はぐはぐの樹 子ども図書館 館長)	34

障がい児学校訪問・招待

障がいのある児童・生徒を図書館に招待又は訪問し、ブックトーク(本の紹介)、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングなどを行い、本に親しむ機会を作った。

	中央	西水元	合計
回数	4	16	20
参加人数	92	365	457

学校図書館・公共図書館連絡会

地域の学校と公立図書館との連携を推進するために、担当教諭・支援指導員・ボランティア等の出席のもと連絡会を行った。

	中央	お花茶屋	立石	上小松	亀有	水元	鎌倉	合計
回数	2	2	2	5	5	4	5	25
参加人数	36	11	35	59	45	48	41	275

(4)障がい者サービス委員会主催行事

音訳ボランティア養成講座(中級)

区内の図書館で音訳ボランティアの活動をしていて、かつ「音訳ボランティア講座(初級)」を修了しているか、同等レベルの技術のある方を対象として、技術の向上を図り、様々なジャンルの資料を音訳できる方を養成するため講座を開催した。

回 期	開催日	会場	内 容	参加人数
第1回	11月26日	中央	漢文の読み方入門 1 漢文の基礎から音訳の仕方 講師 川谷内勝一氏(元二松学舎大学付属高校校長)	33
第2回	12月3日	中央	漢文の読み方入門 2 漢文の基礎から音訳の仕方 講師 川谷内勝一氏(元二松学舎大学付属高校校長)	35
第3回	12月10日	中央	漢文の読み方入門 3 漢文の基礎から音訳の仕方 講師 川谷内勝一氏(元二松学舎大学付属高校校長)	32
第4回	1月14日	中央	漫画の音訳(読み方)入門 1 漫画を知るところからはじめる 講師 三浦一男氏(霊友会点字図書館副館長)	38
第5回	1月21日	中央	漫画の音訳(読み方)入門 2 短編漫画を使って 講師 三浦一男氏(霊友会点字図書館副館長)	35
第6回	1月28日	中央	漫画の音訳(読み方)入門 3 長編漫画を読む 講師 三浦一男氏(霊友会点字図書館副館長)	32

音訳ボランティア養成講座(上級)

区内の図書館で音訳ボランティアの活動を5年程度行って、かつ葛飾区で実施した「音訳ボランティア講座(中級)」を修了しているか、同等レベルの技術のある方を対象として、さらなる技術の向上を図り、様々なジャンルの資料を音訳できる方を養成するため講座を開催した。

回 期	開催日	会場	内 容	参加人数
第1回	2月22日	中央	音声の発声法 2人ひと組での体操、VTR・資料使用の説明 講師 やまもとのりこ氏(日本大学芸術学部学部講師)	36
第2回	3月4日	中央	音声の発声法 2人ひと組での体操、VTR・資料使用の説明 講師 やまもとのりこ氏(日本大学芸術学部学部講師)	30
第3回	3月9日	中央	障がい者サービスの概要 障がい者サービスの歴史、今後の展開、取り組みについて 講師 山内薫氏(墨田区立あずま図書館司書)	34

(5) その他の行事

かみしばいの会

	中央	お花茶屋	水元	合計
回数	22	4	12	38
参加人数	608	80	165	853

科学絵本・工作の会

	中央	お花茶屋	水元	鎌倉	合計
回数	1	1	3	1	6
参加人数	26	25	115	22	188

カルタ大会

	中央	水元	合計
回数	2	2	4
参加人数	29	35	64

ブッククラブ

	水元	鎌倉	合計
回数	5	6	11
参加人数	9	16	25

ボランティア連絡会

	上小松	鎌倉	合計
回数	1	1	2
参加人数	7	4	11

学校図書館ボランティア講座

	上小松	水元	合計
回数	2	1	3
参加人数	30	6	36

読み聞かせボランティア講座(各館対応分)

	上小松	亀有	合計
回数	2	1	3
参加人数	25	11	36

その他の行事

行事名	館名	回数	参加人数
点訳体験講座	中央	1	9
はてなぶっくす？	中央	1	38
シールラリー	中央	1	190
特別企画アンケート	中央	1	515
むぎわらぼうしクイズ	中央	1	133
らんらんフェスティバル	中央	1	120
絵本ボランティア講座	中央	3	51
体験ボランティア講座	中央	1	9
手づくり絵本教室	中央	5	98
震災被災者の方々に絵本の読み聞かせ	中央	1	11
一日映画会	お花茶屋	3	127
クリスマスツリーづくり	お花茶屋	1	26
図書館ボランティアの受け入れ	上小松	1	2
ほんのクイズ	上小松	1	144
わらべうたの会	水元	1	24
図書館ビンゴ	水元	1	30
『さらまわしショー』をつくろう！	水元	1	30
ねんどでおかしをつくろう	水元	1	51
かみしばいまつり	水元	1	66
そよかぜ朗読会	鎌倉	1	7
大人の図書館体験ツアー	鎌倉	1	8
地域ボランティア活動の受け入れ	鎌倉	1	5
西水元あやめ園訪問	西水元	4	49
四者懇談会(障がい者サービス) 四者...利用者、ガイドヘルパー、音訳・点訳ボランティア、図書館員	中央	1	50

葛飾図書館友の会共催の行事

行事名	館名	回数	参加人数
講演会	中央	1	42
ナイトシアター	中央	11	363
16ミリ映画会	中央	1	34

9 各種統計

(1) サービス実績

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23区平均
区民一人当りの蔵書数	蔵書総数 / 人口 (図書)	2.34	2.35	2.29	2.52	2.43(冊)	2.92(冊)
区民一人当りの貸出冊数	貸出冊数 / 人口 (図書・雑誌 含団体)	6.22	6.23	6.45	6.79	7.57(冊)	(個人貸出) 7.98(冊)
登録者一人当りの貸出冊数	個人貸出冊数 (図書・雑誌) / 登録者数	14.98	14.94	15.07	16.58	18.16(冊)	19.07(冊)
区民一人当りの資料購入費	図書館資料費 / 人口	256	233	572	305	458(円)	333(円)
区民一人当りの購入冊数	購入冊数 / 人口 (図書)	0.12	0.10	0.25	0.15	0.11(冊)	-
登録率	登録者数 / 人口 * 100 (個人)	39.16	39.75	40.99	39.34	40.11(%)	40.68(%)
全蔵書の平均貸出回数	貸出冊数 / 蔵書冊数 (図書・雑誌 含団体)	2.51	2.50	2.67	2.56	2.89(回)	(個人貸出) 2.73(回)
開館日一日当りの貸出冊数	館ごとの「貸出冊数(図書・雑誌 含団体 / 開館日数)」の合計	9,363	9,512	9,424	11,101	11,233(冊)	-

注:人口、蔵書総数は、平成23年4月1日現在。登録者数は、22年度の延べ登録者数。

その他は、各年度の実績。登録者には区内在勤・在学・近隣区市を含む。

図書資料費は、雑誌、新聞、官報、視聴覚資料、新立石図書館、奥戸地区図書館など全ての資料を含む。

登録者数・貸出冊数・図書館資料費・購入冊数・開館平均日数には、男女平等推進センター分及びAV資料は含まず。

(2) 登録者所在内訳

	一般室登録者	児童室登録者	合計	構成比
区内在住	136,395	23,915	160,310	88.3%
足立区	4,247	304	4,551	2.51%
江戸川区	5,371	683	6,054	3.33%
墨田区	561	16	577	0.32%
江東区	337	6	343	0.19%
その他の都内	559	0	559	0.31%
都内計	147,470	24,924	172,394	94.96%
埼玉県三郷市	2,671	245	2,916	1.61%
千葉県松戸市	3,543	114	3,657	2.01%
その他	2,524	53	2,577	1.42%
合計	156,208	25,336	181,544	100.00%

注:登録者数は、平成23年4月1日現在。(男女平等推進センターの登録者を含む。)

(3) 図書館資料費推移(決算額)

(単位:円、%)

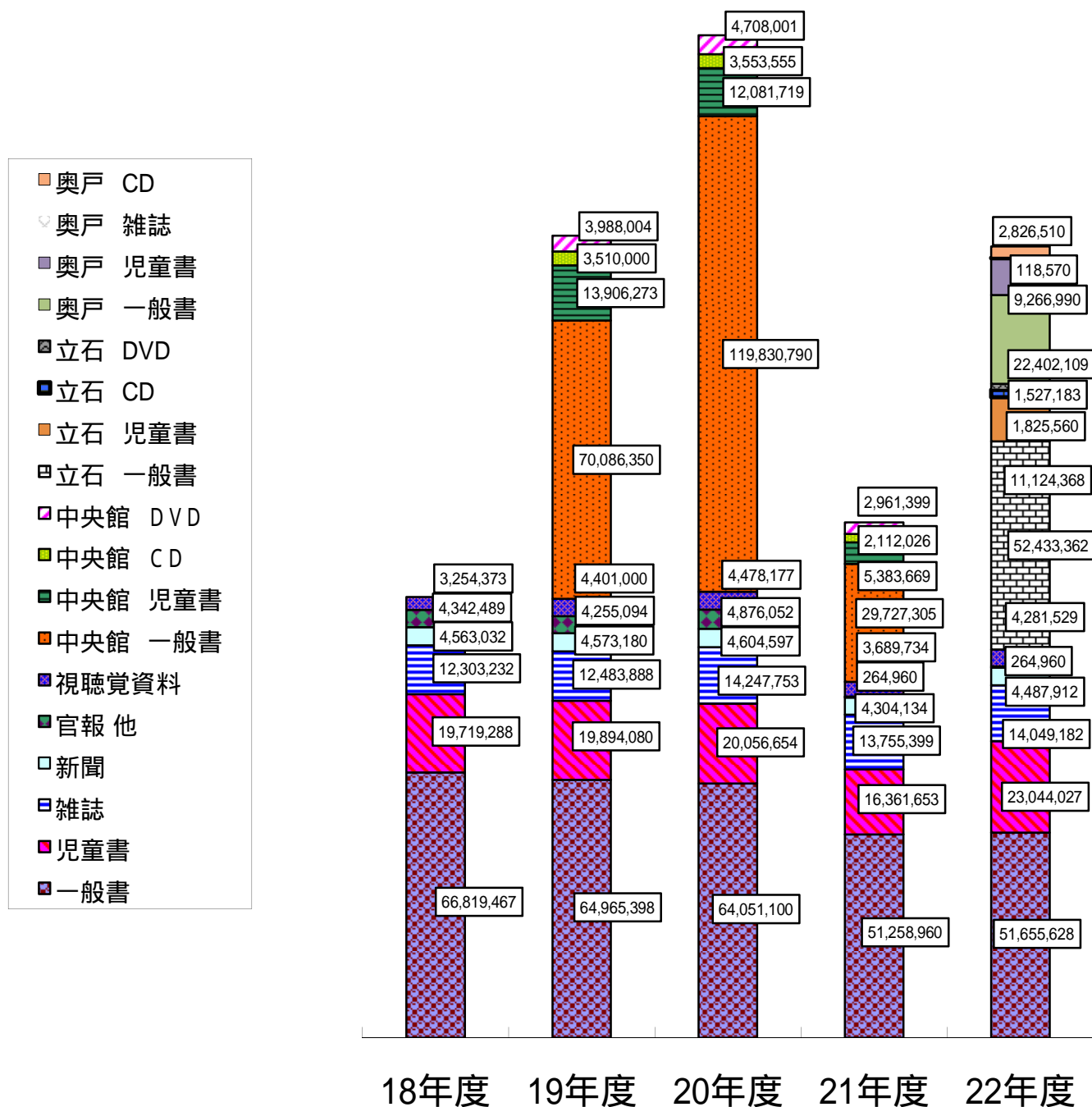
種 別	21 年 度	22 年 度	前年度比
図 書 (計)	67,515,513	74,640,645	10.6
一般書	51,153,860	51,596,618	0.9
児童書	16,361,653	23,044,027	40.8
雑誌	13,755,399	14,049,182	2.1
新聞	4,304,134	4,487,912	4.3
官報	264,960	264,960	0.0
追録	4,131,994	4,235,000	2.5
ブックスタート図書資料費	2,389,615	2,390,200	0.0
図書等購入費の計 [A]	92,361,615	100,067,899	8.3
コンパクトディスク (計)	1,826,443	2,397,478	31.3
カセットテープ (計)	0	0	-
デジタル図書	84,000	87,675	4.4
ビデオソフト	0	0	-
DVD	1,779,291	1,796,376	1.0
CD-ROM	95,550	59,010	100.0
視聴覚資料費の計 [B]	3,785,284	4,340,539	14.7
図書館資料費の合計[A]+[B]	96,146,899	104,408,438	8.6

新立石図書館・奥戸地区図書館用資料購入費

(単位:円)

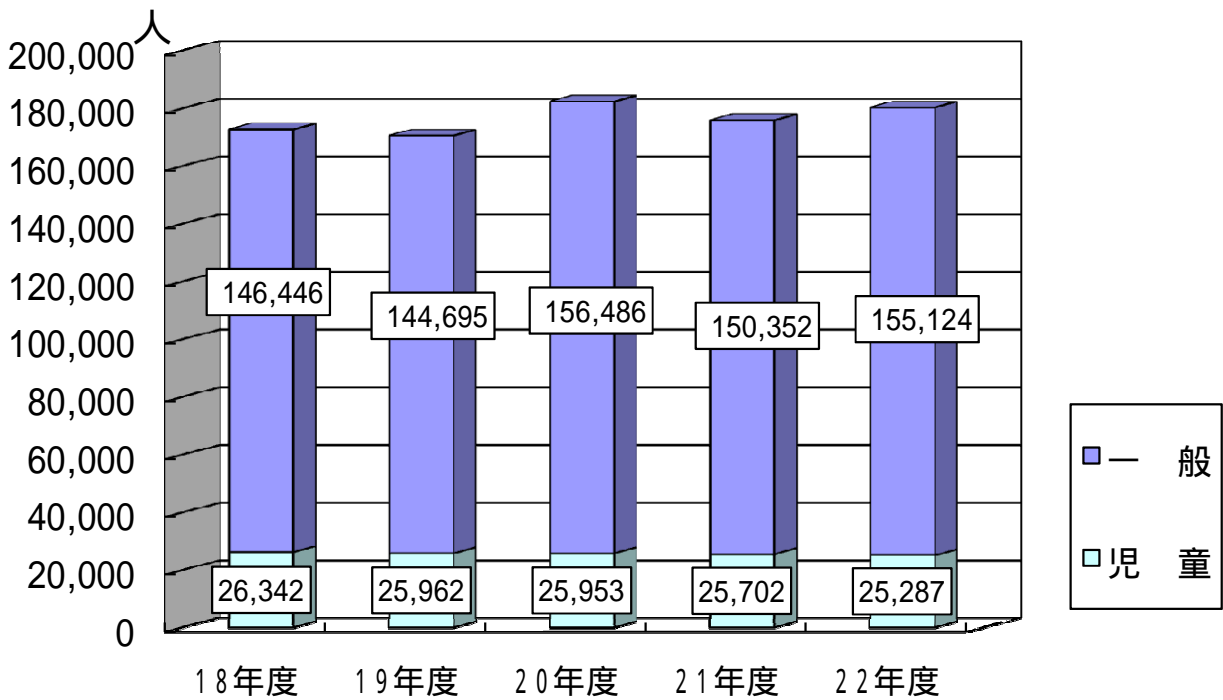
種 別	立石図書館	奥戸地区図書館
一般書	52,433,362	22,402,109
児童書	11,124,368	9,266,990
雑誌	0	118,570
図書等購入費の計 [C]	63,557,730	31,787,669
コンパクトディスク	1,825,560	2,826,510
DVD	1,527,183	0
視聴覚資料費の計 [D]	3,352,743	2,826,510
図書館資料費の合計[C]+[D]	66,910,473	34,614,179

図書館資料費推移 (決算額)



* CD-ROMの購入費は一般書に含む。

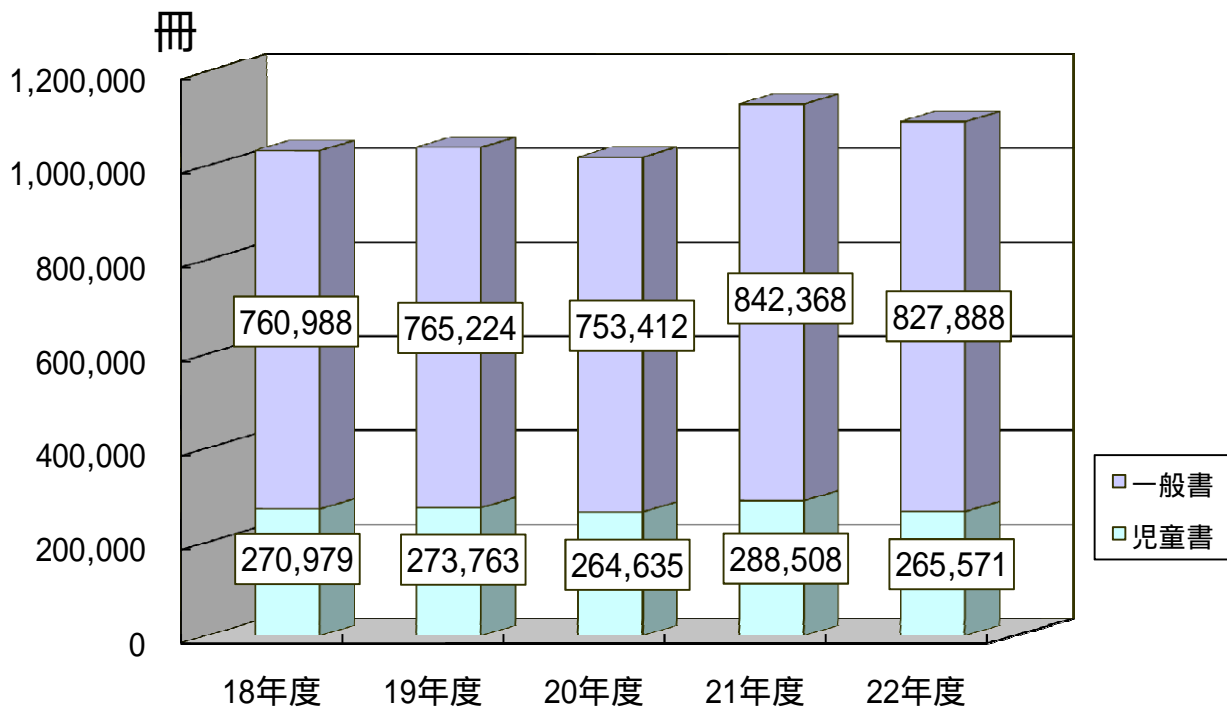
(4) 登録者の推移



		中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計	男女 センター
新規 登録者	一般	8,580	346	1,113	1,287	811	487	866	226	133	467	263	14,579	26
	児童	1,124	56	411	487	378	328	482	122	106	155	110	3,759	0
	合計	9,704	402	1,524	1,774	1,189	815	1,348	348	239	622	373	18,338	26
登録者	H S	14	1	1	1	0	4	2	1	0	0	0	24	0
	団体	29	1	43	11	12	24	26	4	0	1	2	153	0
	相互	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
開館日数		344	291	291	291	291	290	291	279	279	279	278	3,204	-
1日平均登録者数		28	1	5	6	4	3	5	1	1	2	1	6	-
登録者 延べ人数	一般	44,343	15,248	18,669	17,531	13,275	16,942	17,440	3,771	4,045	3,474	386	155,124	377
	児童	4,842	1,941	3,389	3,094	2,131	3,934	3,050	849	879	1,013	165	25,287	9
	合計	49,185	17,189	22,058	20,625	15,406	20,876	20,490	4,620	4,924	4,487	551	180,411	386
延べ人数	H S	175	57	166	50	38	52	52	20	20	5	1	636	4
	団体	397	137	271	243	200	317	200	33	44	15	2	1,859	0
	相互	267	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	268	0

*「HS」はハンディキャップサービスの登録者数。

(5) 蔵書数の推移



(6) 資料統計
館別蔵書・所蔵数

平成23年4月1日現在

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計
図書	344,024	46,372	114,523	108,495	109,986	100,318	109,946	37,574	37,417	32,988	51,816	1,093,459
一般書	295,394	32,530	86,893	83,490	81,209	73,073	82,817	24,760	23,901	20,545	23,276	827,888
(大活字・点字資料)	5,051	329	707	780	1,264	958	861	197	161	62	126	10,496
(地域資料)	20,133	1,946	3,407	1,864	2,282	1,881	1,371	456	469	521	450	34,780
(外国語資料)	5,127	171	609	1,132	1,226	934	731	22	64	0	0	10,016
児童書	48,630	13,842	27,630	25,005	28,777	27,245	27,129	12,814	13,516	12,443	28,540	265,571
(紙芝居)	964	229	424	520	589	689	733	423	301	228	578	5,678
(絵本)	18,946	5,567	9,912	9,957	10,885	10,947	10,750	5,042	5,884	5,908	10,114	103,912
新聞	35	0	13	15	13	14	13	8	8	9	8	136
雑誌	411	1	178	157	154	174	147	67	61	74	51	1,475
CD	6,865	2,310	2,786	2,979	2,612	2,476	2,916	1,374	1,141	1,378	628	27,465
カセット	1,127	43	432	1,255	658	736	713	128	294	16	60	5,462
ビデオ	186	6	53	43	37	76	67	10	9	7	2	496
DVD	2,668	25	35	33	56	35	38	10	11	10	2	2,923
16ミリフィルム	655	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	655

* ()は内数
 * 新聞・雑誌はタイトル数
 * ビデオは旧葛飾図書館(2009年10月17日から貸出停止)のみ、その他の図書館は広報ビデオ。保存庫のビデオは中央に含める。旧葛飾図書館のビデオ所蔵数は中央に含める。

(7) 館別蔵書冊数

平成23年4月1日現在

一般書

単位:冊

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計
0 総記	8,568	831	2,229	2,221	2,640	1,560	1,562	332	420	501	608	21,472
1 哲学	11,342	1,051	2,653	3,125	2,607	2,077	2,012	540	484	444	558	26,893
2 歴史	24,791	2,934	7,795	7,365	6,095	6,120	6,972	1,537	1,446	1,899	1,820	68,774
3 社会科学	41,284	4,714	9,976	10,226	9,026	7,210	7,664	1,875	1,778	1,613	1,961	97,327
4 自然科学	16,967	1,834	5,918	5,353	4,108	3,874	5,467	1,485	1,261	1,088	1,547	48,902
5 技術	20,106	2,594	5,736	6,380	5,815	5,570	7,245	2,517	1,961	2,885	2,695	63,504
6 産業	8,783	801	2,449	2,772	2,299	2,146	3,526	827	539	597	830	25,569
7 芸術	23,688	2,092	7,145	8,312	6,793	6,008	6,490	1,475	1,502	1,496	1,778	66,779
8 言語	4,569	458	1,181	896	1,012	1,170	1,437	326	298	409	578	12,334
9 文学	56,492	6,130	16,679	19,279	18,602	15,675	18,927	4,831	8,749	4,026	4,451	173,841
K 郷土・行政資料	20,133	1,946	3,407	1,864	2,282	1,881	1,371	456	469	521	450	34,780
L・X 大活字・点字資料	5,051	329	707	780	1,264	958	861	197	161	62	126	10,496
R 参考図書	16,040	1,700	3,075	2,413	2,743	2,658	1,935	209	264	200	317	31,554
B 文庫	18,053	3,316	8,649	5,469	7,044	6,633	8,761	4,382	2,635	2,717	2,844	70,503
G 外国語資料	5,127	171	609	1,132	1,266	934	731	22	64	0	0	10,056
Y ヤングアダルト	11,152	1,383	5,974	4,023	5,674	5,739	5,504	2,431	1,523	1,645	2,240	47,288
Z 特集本等	906	124	1,896	1,264	1,257	1,416	692	16	21	17	26	7,635
M マンガ	2,342	122	815	616	682	1,444	1,660	1,302	326	425	447	10,181
合計	295,394	32,530	86,893	83,490	81,209	73,073	82,817	24,760	23,901	20,545	23,276	827,888

児童書

単位:冊

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計
0 総記	501	66	190	117	135	226	152	89	87	49	283	1,895
1 哲学	155	31	124	84	96	98	95	45	33	35	153	949
2 歴史	2,667	564	1,098	891	1,061	1,069	1,160	446	487	429	1,109	10,981
3 社会科学	2,358	592	1,407	978	1,302	1,176	1,167	630	631	483	1,324	12,048
4 自然科学	3,096	1,144	2,511	1,826	2,415	2,193	2,442	816	1,183	902	2,106	20,634
5 技術	1,203	492	1,209	811	1,208	930	1,051	532	504	325	1,083	9,348
6 産業	273	126	279	222	241	186	206	107	85	71	208	2,004
7 芸術	1,717	517	1,265	979	1,482	1,094	1,179	513	563	422	1,034	10,765
8 言語	336	105	214	241	269	187	188	126	152	74	219	2,111
9 文学	13,968	3,665	7,852	7,070	7,870	7,115	7,046	3,167	3,098	2,692	7,623	71,166
P 紙芝居	964	229	424	520	589	689	733	423	301	228	578	5,678
E 絵本	18,946	5,567	9,912	9,957	10,885	10,947	10,750	5,042	5,884	5,908	10,114	103,912
R 参考図書	636	200	333	435	392	318	244	111	107	200	363	3,339
B 文庫	1,732	277	776	823	769	840	677	684	375	584	1,509	9,046
Z 特集本等	67	193	11	50	50	6	3	0	16	39	136	571
M マンガ	11	74	25	1	13	171	36	83	10	2	698	1,124
合計	48,630	13,842	27,630	25,005	28,777	27,245	27,129	12,814	13,516	12,443	28,540	265,571

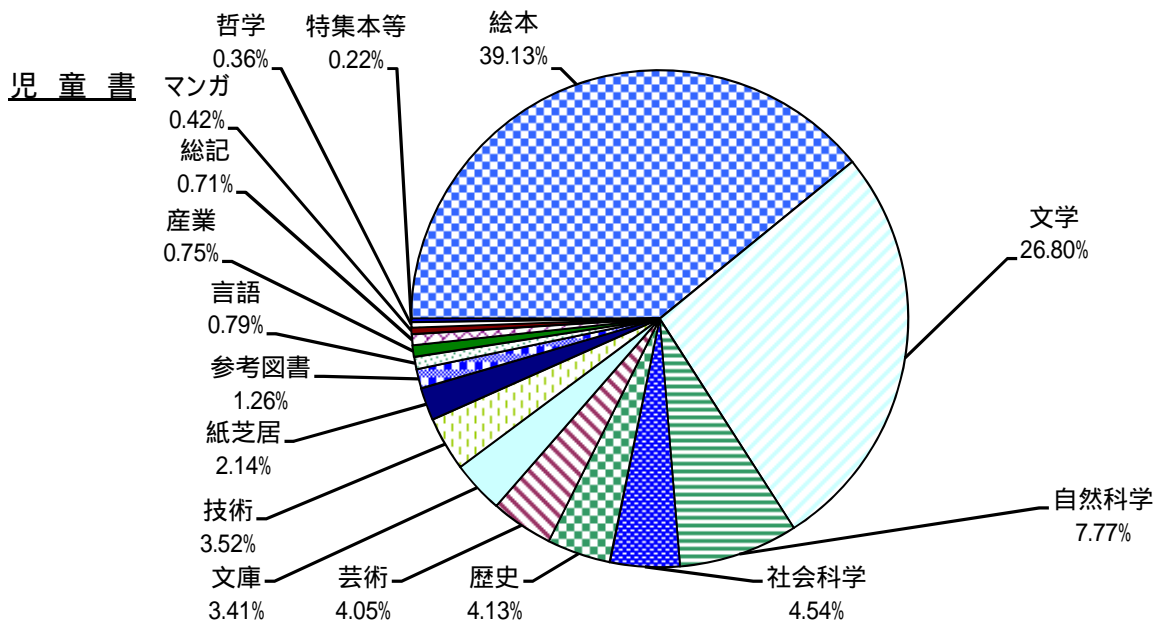
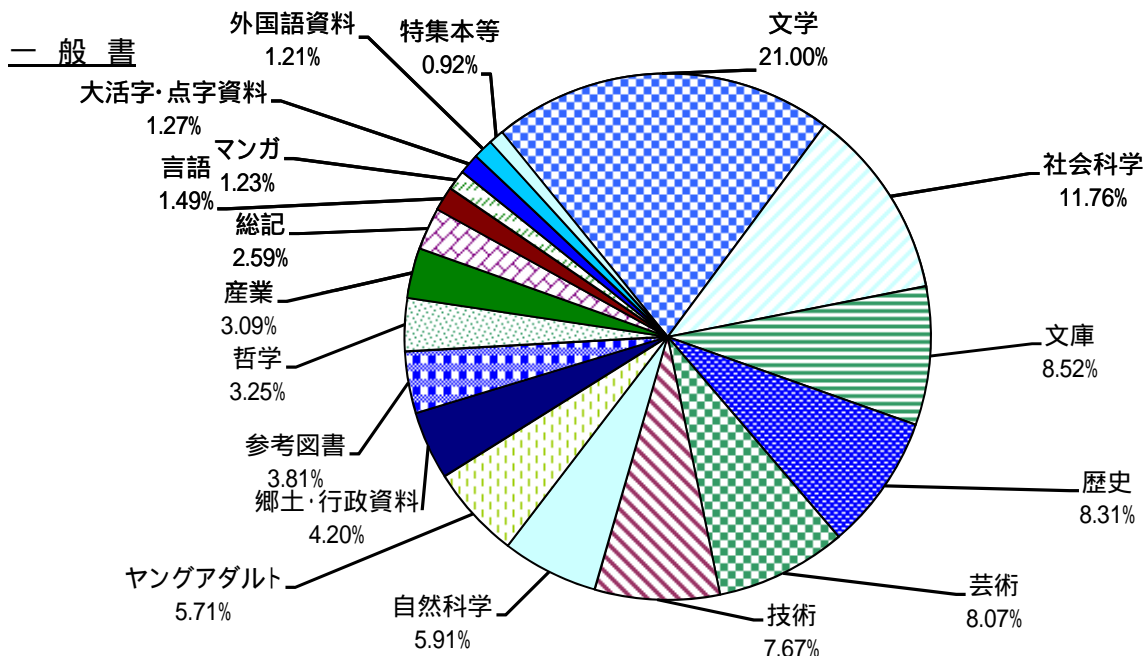
(8)蔵書冊数表

一般書

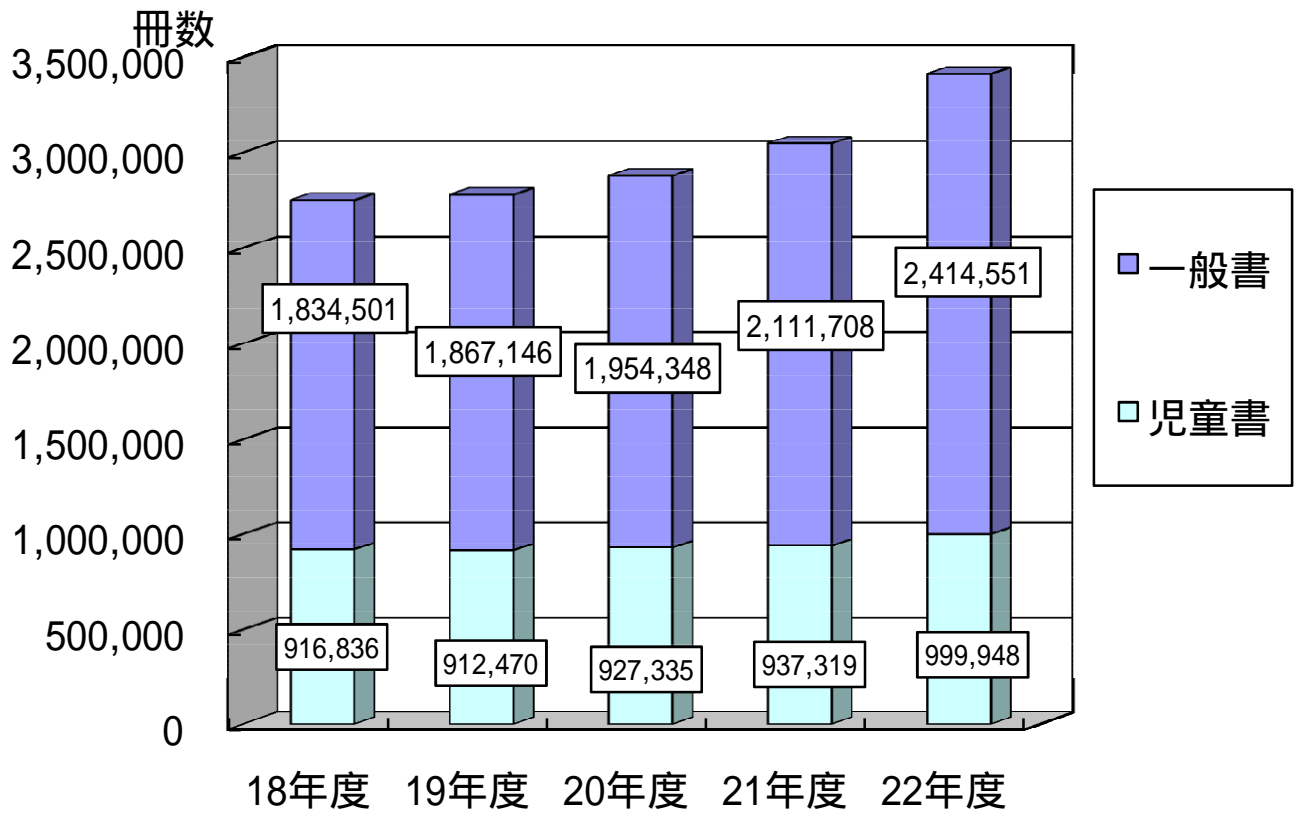
記号	分類	冊数	割合
9	文学	173,841	21.00%
3	社会科学	97,327	11.76%
B	文庫	70,503	8.52%
2	歴史	68,774	8.31%
7	芸術	66,779	8.07%
5	技術	63,504	7.67%
4	自然科学	48,902	5.91%
Y	ヤングアダルト	47,288	5.71%
K	郷土・行政資料	34,780	4.20%
R	参考図書	31,554	3.81%
1	哲学	26,893	3.25%
6	産業	25,569	3.09%
0	総記	21,472	2.59%
8	言語	12,334	1.49%
M	マンガ	10,181	1.23%
L・X	大活字・点字資料	10,496	1.27%
G	外国語資料	10,056	1.21%
Z	特集本等	7,635	0.92%
合計		827,888	100.00%

児童書

記号	分類	冊数	割合
E	絵本	103,912	39.13%
9	文学	71,166	26.80%
4	自然科学	20,634	7.77%
3	社会科学	12,048	4.54%
2	歴史	10,981	4.13%
7	芸術	10,765	4.05%
B	文庫	9,046	3.41%
5	技術	9,348	3.52%
P	紙芝居	5,678	2.14%
R	参考図書	3,339	1.26%
8	言語	2,111	0.79%
6	産業	2,004	0.75%
0	総記	1,895	0.71%
M	マンガ	1,124	0.42%
1	哲学	949	0.36%
Z	特集本等	571	0.22%
合計		265,571	100.00%



(9) 図書貸出冊数の推移



平成22年度における貸出冊数(図書・雑誌)

	中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計	男女 センター
一般書	802,990	102,113	283,018	235,075	190,820	196,129	260,031	85,837	47,463	132,350	78,725	2,414,551	5,066
1日平均 貸出冊数	2,334.3	350.9	972.6	807.8	655.7	676.3	893.6	307.7	170.1	474.4	283.2	-	-
児童書	249,069	27,492	118,936	127,991	85,535	104,058	104,142	45,207	33,004	54,008	50,506	999,948	762
1日平均 貸出冊数	724.0	94.5	408.7	439.8	293.9	358.8	357.9	162.0	118.3	193.6	181.7	-	-
開館日数	344	291	291	291	291	290	291	279	279	279	278	-	-
合計	1,052,059	129,605	401,954	363,066	276,355	300,187	364,173	131,044	80,467	186,358	129,231	3,414,499	5,828

注: 団体・協力貸出等を含む。

(10) 図書貸出冊数表

(図書・雑誌)

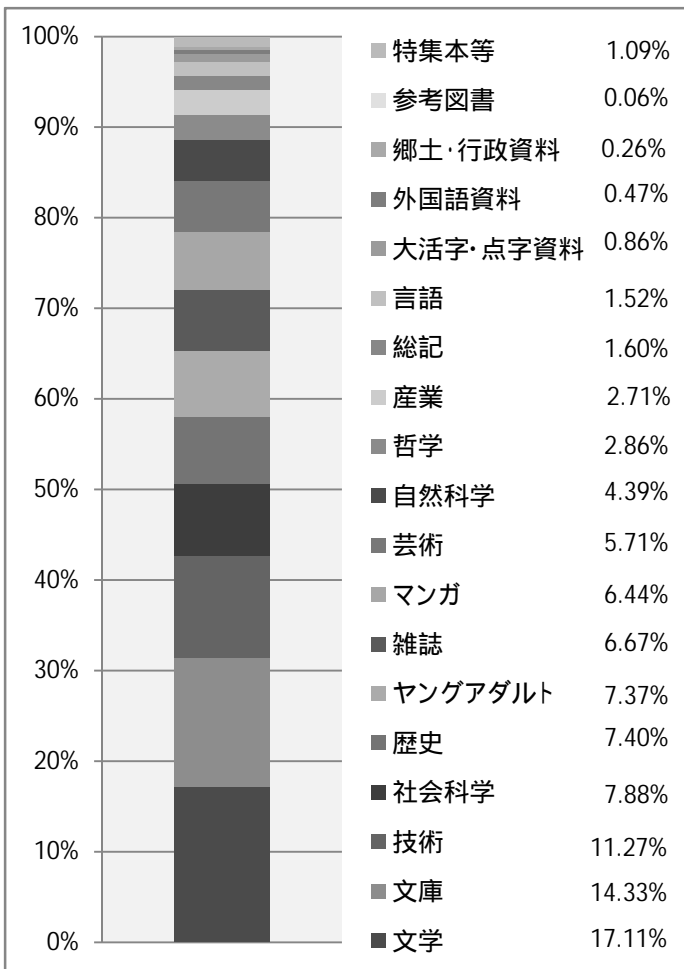
一般書

記号	分類	冊数	割合
9	文学	413,214	17.11%
B	文庫	345,955	14.33%
5	技術	272,122	11.27%
3	社会科学	190,211	7.88%
2	歴史	178,768	7.40%
Y	ヤングアダルト	177,951	7.37%
	雑誌	161,062	6.67%
M	マンガ	155,546	6.44%
7	芸術	137,788	5.71%
4	自然科学	105,957	4.39%
1	哲学	69,033	2.86%
6	産業	65,333	2.71%
0	総記	38,625	1.60%
8	言語	36,798	1.52%
L・X	大活字・点字資料	20,781	0.86%
G	外国語資料	11,330	0.47%
K	郷土・行政資料	6,283	0.26%
R	参考図書	1,481	0.06%
Z	特集本等	26,313	1.09%
	合計	2,414,551	100.00%

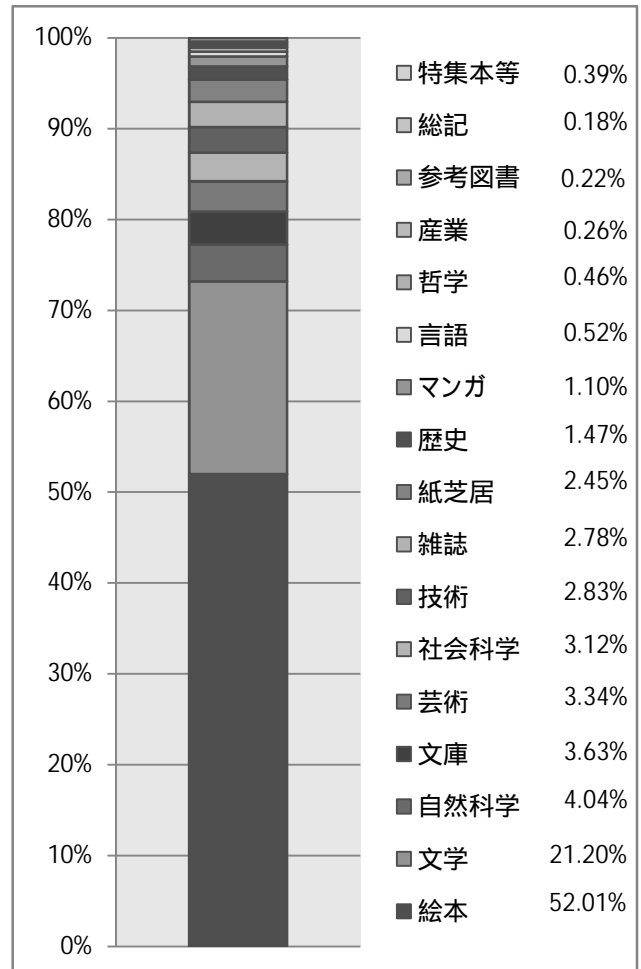
児童書

記号	分類	冊数	割合
E	絵本	520,080	52.01%
9	文学	211,992	21.20%
4	自然科学	40,388	4.04%
B	文庫	36,275	3.63%
7	芸術	33,382	3.34%
3	社会科学	31,245	3.12%
5	技術	28,312	2.83%
	雑誌	27,765	2.78%
P	紙芝居	24,545	2.45%
2	歴史	14,706	1.47%
M	マンガ	11,001	1.10%
8	言語	5,153	0.52%
1	哲学	4,615	0.46%
6	産業	2,574	0.26%
R	参考図書	2,180	0.22%
0	総記	1,833	0.18%
Z	特集本等	3,902	0.39%
	合計	999,948	100.00%

一般書



児童書



(11) A V (視聴覚) 資料利用状況

A V 資料貸出数

	中 央	立 石	お 花 茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	新 宿	合 計	男 女 セ ン タ ー
C D	94,769	8,941	18,099	17,941	16,218	9,531	20,674	6,066	3,041	11,130	4,245	210,655	440
カセット	387	84	1,216	1,146	1,421	994	968	283	60	117	139	6,815	13
ビ デ オ	45	4	13	20	16	8	10	3	0	12	0	131	4
D V D	34,567	828	1,221	1,161	1,100	594	1,362	256	188	439	387	42,103	90
その他	41	0	3	0	1	0	1	0	0	0	0	46	0
合 計	129,809	9,857	20,552	20,268	18,756	11,127	23,015	6,608	3,289	11,698	4,771	259,750	547

(12) 予約・リクエスト統計

一般図書・雑誌

館名 内訳	中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計	男女 センター
予約受付	209,342	63,599	76,855	75,873	60,669	48,476	75,943	24,184	13,177	45,554	30,552	724,224	3,069
内 数													
借用	2,742	950	1,481	1,233	1,370	673	1,094	413	198	795	409	11,358	23
提供不能	65	5	28	15	26	16	16	4	0	67	2	244	
選定落ち	12	0	1	14	0	2	1	1	0	2	0	33	

児童図書・雑誌

館名 内訳	中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計	男女 センター
予約受付	20,068	10,657	9,666	12,969	7,211	9,024	8,494	5,442	2,008	5,603	5,287	96,429	382
内 数													
提供不能	5	0	2	0	0	0	0	2	0	2	0	11	
選定落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

A V

館名 内数	中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計	男女 センター
予約受付	20,153	6,421	8,344	8,952	7,413	4,050	10,335	2,246	1,363	3,760	2,777	75,814	481
内 数													
提供不能	23	5	4	4	0	4	1	0	0	1	0	42	
選定落ち	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	

予約受付 インターネット・館内端末からの利用者による予約を含む。

借用 当該資料が区内未所蔵等のため、区外の図書館からの取り寄せたもの。

(他の自治体所蔵の資料のため、一般書・児童書の区別ができず、一般書にまとめて記載した。)

提供不能 区内・区外ともに資料がなく、絶版等で購入もできなかったもの。

選定落ち 区内・区外ともに資料がなく購入選定を行ったが、区立図書館の蔵書として不適当と判断したもの。

予約方法別受付件数(再掲)

予約方法	合計	割合
図書館カウンター	92,832	10.21%
インターネット	629,560	69.26%
館内端末	186,599	20.53%
合計	908,991	100%

* 男女平等推進センター含む。団体、協力含む。

図書館カウンター

予約・リクエストカードを図書館カウンターに提出し、図書館職員が予約入力する。

インターネット

インターネットによる予約。(平成16年1月28日より受付開始。)

館内端末

館内利用者端末から、利用者が直接予約入力。(平成15年1月17日より受付開始。)

(13)蔵書点検

蔵書資料点検の実施時期及び3年にわたって不明だった資料数

館名	蔵書点検実施時期	一般書	児童書	雑誌	図書・雑誌の計	CD	カセット	ビデオ	DVD
中央図書館	9月13日～9月16日	0	0	0	0	0	0	0	0
中央図書館 (保存庫部分)	6月23日～6月25日	213	8	30	251	9	8	7	0
立石図書館	建て替え中のため実施せず	-	-	-	-	-	-	-	-
お花茶屋図書館	10月19日～10月22日	566	16	214	796	8	13	0	0
上小松図書館	6月1日～6月4日	526	54	239	819	4	7	0	0
亀有図書館	6月15日～6月18日	511	38	52	601	13	1	0	0
水元図書館	11月9日～11月12日	593	52	50	695	53	7	0	0
鎌倉図書館	10月5日～10月8日	642	29	43	714	89	2	0	0
四つ木地区図書館	12月8日～12月9日	52	5	7	64	7	0	0	0
西水元地区図書館	9月29日～9月30日	55	12	10	77	1	0	0	0
青戸地区図書館	6月30日～7月1日	50	10	12	72	8	0	0	0
新宿図書センター	5月19日～5月20日	1	23	1	25	0	0	0	0
合計		3,208	224	657	4,089	192	38	7	0

図書資料の除籍冊数推移

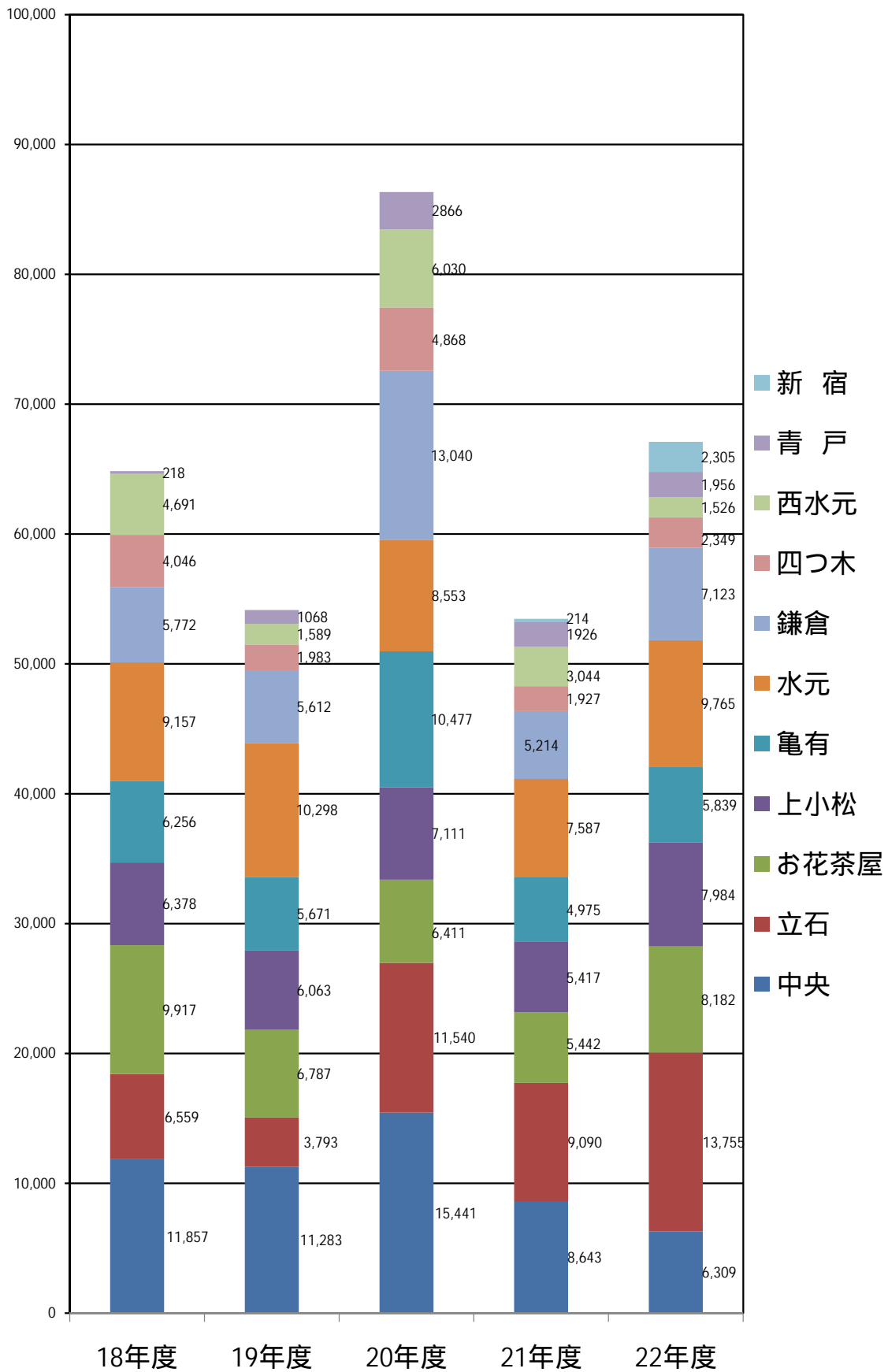
(平成23年4月1日現在)

館名	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
中央図書館	11,857	11,283	15,441	8,643	6,309
立石図書館	6,559	3,793	11,540	9,090	13,755
お花茶屋図書館	9,917	6,787	6,411	5,442	8,182
上小松図書館	6,378	6,063	7,111	5,417	7,984
亀有図書館	6,256	5,671	10,477	4,975	5,839
水元図書館	9,157	10,298	8,553	7,587	9,765
鎌倉図書館	5,772	5,612	13,040	5,214	7,123
四つ木地区図書館	4,046	1,983	4,868	1,927	2,349
西水元地区図書館	4,691	1,589	6,030	3,044	1,526
青戸地区図書館	218	1,068	2,866	1,926	1,956
新宿図書センター				214	2,305
合計	64,851	54,147	86,337	53,479	67,093

注:平成17年度～平成20年度の中央図書館の除籍冊数は、葛飾図書館の除籍冊数。

平成21年度の中央図書館の除籍冊数には、葛飾図書館の除籍冊数を含む。

図書資料の除籍冊数推移



(14) 図書受入・除籍数

図書受入数

		中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計
一 般	購入	6,600	750	3,378	3,407	3,840	3,424	3,445	1,848	1,756	1,917	1,733	32,098
	寄贈	2,172	163	821	778	716	727	277	367	136	244	567	6,968
	合計	8,772	913	4,199	4,185	4,556	4,151	3,722	2,215	1,892	2,161	2,300	39,066
児 童	購入	2,685	585	1,546	1,716	1,607	1,638	1,569	823	703	714	712	14,298
	寄贈	105	2	77	107	72	98	19	59	17	5	18	579
	合計	2,790	587	1,623	1,823	1,679	1,736	1,588	882	720	719	730	14,877
合 計	購入	9,285	1,335	4,924	5,123	5,447	5,062	5,014	2,671	2,459	2,631	2,445	46,396
	寄贈	2,277	165	898	885	788	825	296	426	153	249	585	7,547
	合計	11,562	1,500	5,822	6,008	6,235	5,887	5,310	3,097	2,612	2,880	3,030	53,943

雑誌受入数

		中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計
購入		4,613	185	2,416	2,129	2,215	2,242	2,048	962	1,083	951	792	19,636
寄贈		890	0	87	90	83	110	37	16	13	0	3	1,329
合計		5,503	185	2,503	2,219	2,298	2,352	2,085	978	1,096	951	795	20,965

図書除籍数

		中央 (葛飾含)	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計
一 般	廃棄	5,657	13,508	5,884	5,432	4,182	7,048	4,945	1,884	983	1,599	816	51,938
	亡失	333	7	605	553	532	624	667	60	59	63	4	3,507
	合計	5,990	13,515	6,489	5,985	4,714	7,672	5,612	1,944	1,042	1,662	820	55,445
児 童	廃棄	297	240	1,677	1,944	1,083	2,038	1,475	400	471	279	1,461	11,365
	亡失	22	0	16	55	42	55	36	5	13	15	24	283
	合計	319	240	1,693	1,999	1,125	2,093	1,511	405	484	294	1,485	11,648
合 計	廃棄	5,954	13,748	7,561	7,376	5,265	9,086	6,420	2,284	1,454	1,878	2,277	63,303
	亡失	355	7	621	608	574	679	703	65	72	78	28	3,790
	合計	6,309	13,755	8,182	7,984	5,839	9,765	7,123	2,349	1,526	1,956	2,305	67,093

(15) AV受入数

	中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計
C D	240	1	112	100	113	105	97	51	48	61	49	977
カセット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
DVD	228	1	1	2	9	4	6	0	0	0	2	253

(16) 団体貸出の利用状況

	中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計
登録 団体数	397	137	271	243	200	317	200	33	44	15	2	1,859
貸出 冊数	19,043	4,564	18,167	25,339	14,337	21,357	13,049	4,661	3,461	2,533	2,178	128,689

(17) 障がい者サービスの利用状況

登録数

登録数 (人)	内 訳		
	視 覚	肢 体	その他
642	138	289	215

対面朗読利用者数(自宅含む)

利用者数 (人)	延時間 (H)
138	276

資料数

種 別	タイトル数	冊 数
点字図書	2,655	2,772
録音図書	92	154
大活字本	3,180	7,823
文芸カセット	-	220
文芸CD	-	2
デイジー図書	109	149
デイジー再生機	8台	-
点訳絵本	188	195
布絵本	52	99

宅配件数及び貸出数

種 別	タイトル数	冊 数
点字図書	34	34
録音図書	66	300
カセット類	49	49
C D	142	142
デイジー	57	57
墨字図書	911	911

(単位:カセット類;巻,CD・デイジー;枚)

(単位:文芸カセット;巻,デイジー;枚)

* 点字図書は中央図書館、その他は全館分

(18) 図書館別・自動貸出機利用者数

一般室

(貸出者数:人)

	中央	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合計
就学前	2,926	86	313	92	244	1,332	4,993
小学生	15,949	850	3,654	733	1,014	5,800	28,000
中学生	8,001	902	549	495	530	565	11,042
高校生	3,762	313	176	165	85	141	4,642
一般	216,581	21,240	12,240	11,284	13,218	14,468	289,031
高齢者	47,010	4,143	1,105	1,667	2,606	1,633	58,164
その他	72	3	6	0	0	3	84
団体	122	0	0	0	4	2	128
合計	294,423	27,537	18,043	14,436	17,701	23,944	396,084

児童室

(貸出者数:人)

	中央	お花茶屋	合計
就学前	5,595	1,867	7,462
小学生	11,140	8,763	19,903
中学生	387	157	544
高校生	49	19	68
一般	11,089	5,496	16,585
高齢者	345	150	495
その他	40	3	43
団体	20	9	29
合計	28,665	16,464	45,129

予約棚

(貸出者数:人)

	中央
就学前	867
小学生	5,832
中学生	3,932
高校生	1,984
一般	96,512
高齢者	5,987
その他	0
団体	38
合計	115,152

図書館別合計

(貸出者数:人)

	中央	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合計
就学前	9,388	1,953	313	92	244	1,332	13,322
小学生	32,921	9,613	3,654	733	1,014	5,800	53,735
中学生	12,320	1,059	549	495	530	565	15,518
高校生	5,795	332	176	165	85	141	6,694
一般	324,182	26,736	12,240	11,284	13,218	14,468	402,128
高齢者	53,342	4,293	1,105	1,667	2,606	1,633	64,646
その他	112	6	6	0	0	3	127
団体	180	9	0	0	4	2	195
合計	438,240	44,001	18,043	14,436	17,701	23,944	556,365

(19) 中央図書館個人閲覧席・利用者用インターネット利用者数

(利用者数:人)

	個人閲覧席 (42席)	ビジネスPC (9台)	児童PC (1台)	検索PC (4台)
4月	4,288	1,191	190	3,269
5月	5,265	1,263	235	3,572
6月	5,213	1,314	224	3,357
7月	5,680	1,508	335	3,740
8月	5,888	1,864	416	3,984
9月	4,508	1,436	186	2,975
10月	5,212	1,491	191	3,376
11月	5,040	1,502	165	3,252
12月	4,678	1,273	142	3,171
1月	4,692	1,461	147	2,939
2月	4,650	1,520	119	3,075
3月	3,317	1,307	154	2,602
合計	58,431	17,130	2,504	39,312

(20)メール通知サービス登録者数

(登録者数:人)

		22年度新規登録者数	累計登録者数
メールマガジン 送付サービス	PC向け	492	1,502
	携帯向け	211	537
新着図書 お知らせサービス	検索条件指定の件数	888	1,492
	ジャンル指定	677	1,442
貸出情報お知らせサービス		2,675	6,069
返却期限お知らせサービス		3,400	7,801
合計		8,343	18,843

(21)図書館別来館者数・平均来館者数

(来館者数:人)

	中央	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	合計
来館者数	1,316,878	287,525	305,270	223,846	263,316	299,873	82,412	61,942	127,610	156,836	3,125,508
開館日数	344	291	291	291	290	291	279	279	279	278	2,913
平均来館者数	3,828	988	1,049	769	908	1,030	295	222	457	564	1,011

(22)利用カードパスワード登録者数

(登録者数:人)

	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	その他	団体	合計
新規登録者数	1,501	3,637	809	416	16,864	1,564	309	187	25,287
累計登録者数	4,386	16,491	6,973	3,941	86,121	8,919	235	1,100	128,166

(23)E-mailアドレス登録者数

(登録者数:人)

	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	その他	団体	合計
新規登録者数	156	377	248	150	4,947	157	10	2	6,047
累計登録者数	404	1,555	1,032	853	29,452	989	14	26	34,325

(24) 貸出ベスト

対象期間 平成22年4月 ~ 平成23年3月

一般図書

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	ハリー・ポッターと死の秘宝 上	J.K.ローリング	静山社	573
2	ハリー・ポッターと死の秘宝 下	J.K.ローリング	静山社	561
3	おそろし 三島屋変調百物語事始	宮部みゆき	角川書店	438
4	容疑者Xの献身	東野圭吾	文藝春秋	392
5	楽園 上	宮部みゆき	文藝春秋	390
6	告白	湊かなえ	双葉社	386
7	聖女の救済	東野圭吾	文藝春秋	385
8	名もなき毒	宮部みゆき	幻冬舎	380
8	にんきもののねがい	森絵都 文 武田美穂 絵	童心社	380
9	カッコウの卵は誰のもの	東野圭吾	光文社	367
10	悼む人	天童荒太	文藝春秋	363
11	楽園 下	宮部みゆき	文藝春秋	361
12	1Q84-a novel- BOOK3 10月-12月	村上春樹	新潮社	359
13	赤い指	東野圭吾	講談社	356
14	1Q84-a novel- BOOK1 4月-6月	村上春樹	新潮社	352
15	新参者	東野圭吾	講談社	348
16	1Q84-a novel- BOOK2 7月-9月	村上春樹	新潮社	337
17	ガリレオの苦悩	東野圭吾	文藝春秋	322
18	ハリー・ポッターと謎のプリンス 上	J.K.ローリング	静山社	321
19	るるぶ葛飾区柴又亀有(るるぶ情報版 関東 62)		JTBパブリッシング	320
20	にんきものをめざせ!	森絵都 文 武田美穂 絵	童心社	319

(24) 貸出ベスト

対象期間 平成22年4月 ~ 平成23年3月

児童図書

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック	富山房	751
2	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやまけん 絵 森比左志 文	こぐま社	749
3	ぐりとぐら	中川季枝子 作 大村百合子 絵	福音館書店	740
4	がたんごとんがたんごとん	安西水丸	福音館書店	696
5	はらぺこあおむし 改訂版	エリック＝カール	偕成社	694
6	ぼくんちカレーライス	つちだのぶこ	佼成出版社	674
7	めっきらもっきらどおんどん	長谷川摂子 作 ふりやなな 画	福音館書店	581
8	もこもこもこ	谷川俊太郎 作 元永定正 文	文研出版	577
9	ハリー・ポッターと死の秘宝 上	J. K. ローリング	静山社	573
10	キャベツくん	長新太 文・絵	文研出版	567
11	こんとあき	林明子	福音館書店	565
12	ハリー・ポッターと死の秘宝 下	J. K. ローリング	静山社	561
12	ぐりとぐらのえんそく	なかがわえりこ	福音館書店	561
13	わたしのワンピース	にしまきかやこ	こぐま社	542
14	歯がぬけた	中川ひろたか 作 大島妙子 絵	PHP研究所	533
15	からすのパンやさん	かこさとし 絵・文	偕成社	521
16	エルマーのぼうけん	ルース・スタイルス・ガネット	福音館書店	518
17	ともだちや	内田麟太郎 作 降矢なな 絵	偕成社	513
18	そらまめくんのベッド	なかやみわ	福音館書店	512
18	おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん	長谷川義史	BL出版	512
19	ねないこだれだ	せなけいこ	福音館書店	509
20	11ぴきのねことぶた	馬場のぼる	こぐま社	507

(24) 貸出ベスト

対象期間 平成22年4月 ~ 平成23年3月

AV(CD)

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	What's Love?	JUJU	ソニー・ミュージック ディストリビューション	162
2	デイス・イズ・ザ・ワン	宇多田ヒカル	ユニバーサル ミュージック	150
3	あかちゃんとお母さんのあそびうた	小林衛己子	キングレコード	144
4	GAME	Perfume	徳間ジャパンコミュニ ケーションズ	138
5	カーペンターズ40/40-ベスト・セレクション-	カーペンターズ	ユニバーサル・ ミュージック	133
6	ベスト・フォーク100-青春のFORK&POPS-	ザ・フォーク・クルセ ダース	東芝EMI	128
7	ベスト・オブ・トウキョウ・スカ1998 - 2007	東京スカパラダイス オーケストラ	エイベックス・ エンタテインメント	125
8	CYCLE HIT-スピッツ・コンプリート・ シングル・コレクション-1991 - 1997	スピッツ	ユニバーサル・ ミュージック	124
9	ALL SINGLE BEST	コブクロ	ワーナーミュージック・ ジャパン	119
10	ARASHI No.1--嵐は嵐を呼ぶ--	嵐	ポニーキャニオン	115
10	HEART STATION	宇多田ヒカル	EMIミュージック・ジャ パン	115
10	BEST	中島美嘉	SONY MUSIC ASSOCIATE	115
11	ライフアルバム	いきものがかり	ソニー・ミュージック ディストリビューション	114
12	DIARY	青山テルマ	ユニバーサル・ ミュージック	112
13	FAKIN' POP	平井堅	ソニー・ミュージック ディストリビューション	111
14	HORIZON	レミオロメン	ビクター・エンタテイン メント	110
15	First Message	絢香	ワーナーミュージック・ ジャパン	109
15	オデッセイ	平原綾香	コロムビアミュージック エンタテインメント	109
16	5296	コブクロ	ユニバーサル・ ミュージック	101
17	柴崎 コウ Single Best	柴崎コウ	ユニバーサルミュー ジック	100
18	Around 40-アラフォー-		SME Records	98
18	グレイテスト・ヒッツ	スキマスイッチ	BMGジャパン	98
19	ベスト:first things	倅田來未	エイベックス・ エンタテインメント	97
19	ヴォーカリスト 2	徳永英明	ユニバーサル・ ミュージック	97
20	のだめカンタービレ 巴里編	沼光絵里佳	ソニー・ミュージック ディストリビューション	96
20	千の風になって-一期一会-	秋川雅史	テイチクエンタテインメ ント	96
20	エクスペッションズ	竹内まりや	ワーナーミュージック・ ジャパン	96

(24) 貸出ベスト

対象期間 平成22年4月 ~ 平成23年3月

AV(カセット)

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	よいこのどうようベスト60		日本コロムビア	30
2	坊ちゃん, 上	夏目漱石	新潮社	22
3	新釈遠野物語	井上ひさし	新潮社	21
4	おくのほそ道-日本の古典 三-	松尾芭蕉	新潮社	20
4	イングリッシュジャーナル2000年12月		アルク	20
4	ザ・ベスト・オブ・シェリル・リン	シェリル・リン	ソニー・ミュージック ダイレクト	20
5	ゴールデンベスト	島倉千代子	コロムビアミュージック エンタテインメント	19
5	ピアノ協奏曲第5/6/8番	ダニエル・パレンボ イム	Y.J.SOUNDS	19

(24) 貸出ベスト

対象期間 平成22年4月 ~ 平成23年3月

AV(DVD)

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	男はつらいよ 寅次郎あじさいの恋	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	103
2	男はつらいよ 寅次郎物語	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	99
3	男はつらいよ 夜霧にむせぶ寅次郎	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	97
4	男はつらいよ 寅次郎夕焼小焼け	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	96
4	男はつらいよ 奮闘篇-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	96
5	男はつらいよ 寅次郎相合い傘	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	95
6	男はつらいよ 寅次郎恋愛塾	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	94
7	男はつらいよ 寅次郎紙風船	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	93
8	男はつらいよ 寅次郎 紅の花	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	89
8	男はつらいよ-寅次郎の告白-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	89
8	男はつらいよ-寅次郎の青春-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	89
8	男はつらいよ-葛飾立志篇-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	89
8	男はつらいよ-柴又慕情-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	89
9	男はつらいよ-旅と女と寅次郎-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	88
9	男はつらいよ-寅次郎真実一路-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	88
9	男はつらいよ-背景 車 寅次郎様-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	88
10	男はつらいよ-寅次郎春の夢-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	86
10	男はつらいよ-口笛を吹く寅次郎-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	86
10	男はつらいよ-知床慕情-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	86
10	男はつらいよ-寅次郎サラダ記念日-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	86
10	男はつらいよ-寅次郎かもめ歌-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	86
10	男はつらいよ-花も嵐も寅次郎-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	86

10 葛飾区立図書館関係例規集

葛飾区立図書館設置条例

(昭和42年3月20日条例第10号)

(設置)

第1条 葛飾区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、葛飾区立図書館(以下「館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
葛飾区立中央図書館	東京都葛飾区金町六丁目2番1号
葛飾区立立石図書館	東京都葛飾区立石一丁目9番1号
葛飾区立お花茶屋図書館	東京都葛飾区お花茶屋二丁目1番15号
葛飾区立上小松図書館	東京都葛飾区東新小岩三丁目12番1号
葛飾区立亀有図書館	東京都葛飾区亀有一丁目17番5号
葛飾区立水元図書館	東京都葛飾区東水元一丁目7番3号
葛飾区立鎌倉図書館	東京都葛飾区鎌倉二丁目4番5号

2 前項の館に次のとおり分館を置く。

名称等	位置
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立四つ木地区図書館	東京都葛飾区四つ木四丁目8番1号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立西水元地区図書館	東京都葛飾区西水元二丁目2番8号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立青戸地区図書館	東京都葛飾区青戸五丁目20番6号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立奥戸地区図書館	東京都葛飾区奥戸三丁目5番1号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立新宿図書センター	東京都葛飾区新宿三丁目7番1号

(昭42条例39・昭48条例9・昭52条例2・昭52条例27・昭56条例52・昭57条例18・昭62条例15・平8条例45・平10条例67・平15条例70・平21条例1・平22条例47・一部改正)

(委任)

第3条 この条例の施行について必要な事項は、葛飾区教育委員会が定める。

付 則

- 1 この条例は、昭和42年4月1日から施行する。
- 2 東京都葛飾区立図書館設置及び管理条例(昭和23年12月葛飾区条例第13号)は、廃止する。
- 3 葛飾区立立石図書館は、平成21年3月23日から葛飾区教育委員会規則で定める日までの間、休館とする。
(平21条例1・追加)

付 則(中間省略)

付 則(平成10年12月14日条例第67号)

この条例は、葛飾区教育委員会規則で定める日から施行する。
(平成11年教委規則第8号で平成11年6月1日から施行)

付 則(平成15年12月12日条例第70号)

この条例は、葛飾区教育委員会規則で定める日から施行する。
(平成16年教委規則第6号で平成16年5月12日から施行)

付 則(平成21年2月27日条例第1号)

この条例は、平成21年10月17日から施行する。ただし、付則に1項を加える改正規定は、公布の日から施行する。

付 則(平成22年12月15日条例第47号)

この条例は、平成23年4月2日から施行する。

葛飾区立図書館館則

昭和52年4月30日

教委規則第6号

東京都葛飾区立図書館館則(昭和42年4月東京都葛飾区教育委員会規則第4号)の全部を改正する。

(目的)

第1条 この規則は、葛飾区立図書館設置条例(昭和42年葛飾区条例第10号。以下「条例」という。)に規定する図書館(以下「館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(平3教委規則6・平8教委規則22・一部改正)

(館の区分)

第2条 葛飾区教育委員会(以下「委員会」という。)は、館を次のとおり区分する。

中央館 葛飾区立中央図書館

地域館 葛飾区立立石図書館

地域館 葛飾区立お花茶屋図書館

地域館 葛飾区立上小松図書館

地域館 葛飾区立亀有図書館

地域館 葛飾区立水元図書館

地域館 葛飾区立鎌倉図書館

2 条例第2条第2項に規定する分館は、地区館及び図書センターとし、次に掲げるとおりとする。

地区館 葛飾区立四つ木地区図書館(葛飾区立中央図書館分館)

地区館 葛飾区立西水元地区図書館(葛飾区立中央図書館分館)

地区館 葛飾区立青戸地区図書館(葛飾区立中央図書館分館)

図書センター 葛飾区立新宿図書センター(葛飾区立中央図書館分館)

(昭52教委規則9・昭56教委規則11・昭57教委規則11・昭62教委規則7・平8教委規則22・平11教委規則9・平16教委規則7・平21教委規則17・一部改正)

(事業)

第3条 館は、図書館法(昭和25年法律第118号)第3条の規定に基づき、次の事業を行う。

(1) 図書資料(図書、記録、官報、公報、地図、絵画、写真集、新聞、雑誌、パンフレット等をいう。以下同じ。)の館内利用、館外貸出し及び団体貸出し

- (2) 読書案内及び読書相談
 - (3) 読書会、研究会、講演会、講習会、映写会、鑑賞会等の主催及びこれらの開催の奨励
 - (4) 視聴覚資料(CD、DVD、録音テープ、紙芝居等をいう。以下同じ。)の館内利用及び館外貸出し
 - (5) 視覚障害者に対する資料の朗読及び資料の録音
 - (6) 郷土資料(郷土に関する文献等をいう。以下同じ。)及び行政資料の館内利用及び館外貸出し
 - (7) 他の図書館、学校その他の教育機関との連絡
 - (8) その他館の目的達成のため必要な事業
- 2 前項の規定にかかわらず、地区館及び図書センターは次の事業を行う。
- (1) 図書資料、視聴覚資料の館内利用及び館外貸出し
 - (2) その他館の目的達成のため必要な事業
(昭61教委規則2・昭63教委規則3・平元教委規則9・平2教委規則3・平3教委規則6・平8教委規則22・平21教委規則17・一部改正)

(開館時間)

第4条 開館時間は別表第1のとおりとする。ただし、中央館の館長(以下「中央館長」という。)は、事情によりこれを変更することができる。
(平18教委規則5・全改)

(休館日)

第5条 館の休館日は、別表第2のとおりとする。ただし、中央館長が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。
(平18教委規則5・全改)

(読書室等の利用)

第6条 館の読書室等の種別及びその利用区分は、次のとおりとする。ただし、中央館長及び地域館の館長(以下「館長」という。)は、事情によりこれを変更し又は制限することができる。

- (1) 一般室 主として社会人及び学生
- (2) 学習室 主として学生及び生徒
- (3) 児童室 概ね12才未満の者及びその付添人
- (4) 参考図書室 調査研究のために参考図書を利用する者
- (5) 対面朗読室 対面朗読で利用する者
- (6) 録音室 録音を行う者

(昭61教委規則2・一部改正)

(館内秩序)

第7条 館長は、館内の秩序を乱し、又は他の利用者の迷惑になる行為をする者に対し、館の利用を制限し、又は退館させることができる。

(平6教委規則7・全改)

(個人貸出し)

第8条 資料(図書資料、視聴覚資料、郷土資料及び行政資料をいう。以下同じ。)の個人貸出しを受けようとする者は、個人利用カードによらなければならない。

2 前項の個人利用カードは、葛飾区に居住し、勤務し、又は通学する者で、その事実を証明する証書類を提出した者、その他館長が特に必要があると認める者に交付する。

3 個人利用カードの有効期間は、5年とする。

4 貸与され、若しくは譲渡され、又は紛失届の出された個人利用カードは、無効とする。

5 個人貸出しのできる資料の数は、中央館長が別に定める。

6 資料の個人貸出期間は、14日以内とする。ただし、館長は、利用者から申出があった場合は、7日以内の延長を認めることができる。

7 前項の規定にかかわらず、中央館長が特に必要があると認める場合は、別に個人貸出期間を定めることができる。

(昭61教委規則2・昭63教委規則3・一部改正、平2教委規則3・旧第9条線上・一部改正、平6教委規則7・平12教委規則4・平17教委規則5・一部改正)

(団体貸出し)

第9条 図書資料の団体貸出しを受けようとする者は、団体登録証によらなければならない。

2 前項の団体登録証は、葛飾区に在住する読書サークル、文庫、事務所その他団体(以下「団体等」という。)の代表者に交付する。

3 団体登録証の有効期間は、3年とする。

4 館長は、図書資料の団体貸出しを受けた団体等の代表者に対し、その利用状況について報告を求めることができる。

5 団体貸出しは、1口10冊とし5口以内とする。ただし、館長が特に必要があると認める場合は、この限りでない。

6 図書資料の団体貸出期間は、1箇月とする。ただし、館長は、あらかじめ申出があった場合は、更に1箇月間の延長を認めることができる。

7 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認める場合は、別に団体貸出

期間を定めることができる。

(昭63教委規則3・平元教委規則9・一部改正、平2教委規則3・旧第10条繰上・一部改正)

(館外貸出し等を禁ずる資料)

第10条 館長が指定した資料は、館外貸出しを禁ずる。ただし、館長が適当と認めた場合は、10日以内に限り貸出すことができる。

2 館長は、写真等による複写を許さない資料を指定することができる。

(平2教委規則3・旧第11条繰上・一部改正)

(利用中の資料の返却)

第11条 館長は、必要と認めた場合は利用者に対し、利用中の資料を返却させることができる。

(平2教委規則3・旧第14条繰上・一部改正、平3教委規則6・旧第12条繰上、平12教委規則4・一部改正)

(長期未返却者に対する処置)

第12条 館長は、利用者が資料の返却を怠り、督促しても返却しない場合には、以後その者に対し資料の利用を禁ずることができる。

(平2教委規則3・旧第15条繰上、平3教委規則6・旧第13条繰上、平12教委規則4・一部改正)

(損害の賠償)

第13条 館長は、利用者が資料を亡失し、又は著しく汚損し、若しくは棄損した場合には、現品又は金額をもって賠償させることができる。

(平2教委規則3・旧第16条繰上、平3教委規則6・旧第14条繰上)

(委任)

第14条 この規則の施行について必要な事項は、中央館長が定める。

(平2教委規則3・旧第17条繰上、平3教委規則6・旧第15条繰上)

付 則

この規則は、昭和52年6月1日から施行する。

付 則(中間省略)

付 則(平成21年9月25日教委規則第17号)

この規則は、平成21年10月17日から施行する。

別表第1(第4条関係)

(平18教委規則5・追加、平21教委規則17・一部改正)

区分	曜日等	開館時間
中央館	月曜日から土曜日まで(次の項(2)及び(3)に掲げる日を除く。)	午前9時から午後10時まで
	(1) 日曜日 (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。)に定める休日(以下「休日」という。) (3) 12月29日及び同月30日	午前9時から午後8時まで
地域館	火曜日から土曜日まで(休日を除く。)	午前9時から午後8時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで
地区館・図書センター	日曜日、火曜日から木曜日まで及び土曜日	午前10時から午後5時まで
	金曜日	午前10時から午後8時まで

別表第2(第5条関係)

(平18教委規則5・追加、平21教委規則17・一部改正)

区分	休館日
中央館	(1) 館内整理日(毎月第4木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (2) 1月1日から同月3日まで (3) 12月31日 (4) 特別整理期間 1年のうち7日以内
地域館	(1) 月曜日。ただし、その日が休日(1月1日を除く。)に当たるときは、その直後の休日でない日とする。 (2) 館内整理日(毎月第4木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (3) 1月1日から同月3日まで (4) 12月29日から同月31日まで (5) 特別整理期間 1年のうち7日以内
地区館・図書センター	(1) 月曜日 (2) 休日(1月1日を除く。)。ただし、その日が月曜日に当たるときは、その直後の休日でない日を休館日とし、休日のうち祝日法第3条第2項で規定する休日が月曜日に当たるときは、その前日を開館日、その直後の休日でない日を休館日とする。 (3) 館内整理日(毎月第4木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (4) 1月1日から同月3日まで (5) 12月29日から同月31日まで (6) 特別整理期間 1年のうち7日以内

葛飾区立図書館処務規程

昭和52年6月1日
教委訓令甲第5号
事務局一般
各図書館

東京都葛飾区立図書館処務規程(昭和42年3月葛飾区教育委員会訓令甲第2号)の全部を次のように改正する。

(目的)

第1条 この規程は、葛飾区立図書館(葛飾区立図書館館則(昭和52年葛飾区教育委員会規則第6号)第2条の規定に基づく中央館及び地域館並びに地区館及び図書センターをいう。以下「館」という。)の組織等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(平8教委訓令4・平21教委訓令3・一部改正)

(系の設置)

第2条 中央館に次の係を置く。

管理係

整備担当係

事業推進係

(平元教委訓令2・全改、平11教委訓令4・平12教委訓令1・平16教委訓令10・平18教委訓令6・一部改正)

(分掌事務)

第3条 中央館の各係の分掌事務は、次のとおりとする。

管理係

- (1) 公印に関する事。
- (2) 職員の給与及び服務に関する事。
- (3) 文書の受発、編集及び保存に関する事。
- (4) 予算及び会計事務に関する事。
- (5) 中央館の施設の維持管理に関する事。
- (6) 地域館、地区館及び図書センターに関する事。
- (7) 館内庶務その他他の係に属しない事。

整備担当係

- (1) 区立図書館構想の策定に関する事。

- (2) 新宿図書センター、立石図書館及び南奥戸地区図書館の運営方針立案に関すること。
- (3) 新宿図書センター、立石図書館及び南奥戸地区図書館の開設準備に関すること。
- (4) 図書館施設整備計画調査に関すること。

事業推進係

- (1) 電子計算組織による図書館資料の管理及び利用に関すること。
- (2) 図書資料及び視聴覚資料の選定、発注、装備及び受入れに関すること。
- (3) 事務事業の調整に関すること。
- (4) 統計に関すること。
- (5) 広報に関すること。
- (6) 研修に関すること。
- (7) 資料の調査相談に関すること。
- (8) 図書資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (9) 図書資料の館内利用、館外貸出し及び団体貸出しに関すること。
- (10) 図書資料の相互貸借に関すること。
- (11) 視聴覚資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- (12) 読書室等の利用に関すること。
- (13) 読書案内及び読書相談に関すること。
- (14) 郷土資料及び行政資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- (15) 読書会、研究会、映写会等の開催及び奨励に関すること。
- (16) 16ミリ発声映写機の検定に関すること。
- (17) 対面朗読室及び録音室の利用に関すること。
- (18) 地区館及び図書センターの図書資料の貸出し及び運営に関すること。
- (19) 葛飾区男女平等推進センター(以下「男女平等推進センター」という。)の図書資料、視聴覚資料及び行政資料等の貸出しに関すること。

2 地域館の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 公印に関すること。
- (2) 職員の服務に関すること。
- (3) 文書の受発、編集及び保存に関すること。
- (4) 図書資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (5) 図書資料の館内利用及び館外貸出しに関すること。
- (6) 図書資料の相互貸借に関すること。
- (7) 視聴覚資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。
- (8) 読書室等の利用に関すること。
- (9) 読書案内及び読書相談に関すること。

- (10) 読書会、研究会、映写会等の開催及び奨励に関すること。
- (11) 施設の維持管理に関すること。
- (12) 男女平等推進センターの図書資料、視聴覚資料及び行政資料等の貸出しに関すること。
(平元教委訓令2・全改、平3教委訓令2・平4教委訓令10・平5教委訓令1・平8教委訓令4・平11教委訓令4・平12教委訓令1・平13教委訓令7・平16教委訓令10・平18教委訓令6・平21教委訓令3・一部改正)

(職員)

第4条 中央館に次の職員を置く。

- (1) 館長
 - (2) 係長
 - (3) 館員
- 2 地域館に次の職員を置く。
- (1) 館長
 - (2) 館員
- 3 係に主査を置くことができる。
- 4 地域館に主査を置くことができる。
- 5 前4項に掲げる職員は、葛飾区教育委員会が命ずる。
(昭56教委訓令甲3・昭61教委訓令2・平10教委訓令7・平11教委訓令4・平12教委訓令1・一部改正)

第4条の2 地区館及び図書センターに館員を置く。

- 2 前項に定める館員は、前条の職員のうちから中央館の館長(以下「中央館長」という。)が配属する。
(平8教委訓令4・追加、平21教委訓令3・一部改正)

(職責)

- 第5条 中央館長は、課長相当職とし、教育次長の命を受け、館務を掌理し、館の職員を指揮監督する。
- 2 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。
 - 3 地域館の館長(以下「地域館長」という。)は、係長相当職とし、上司の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
 - 4 主査は、上司の命を受け、係の事務又は地域館の事務のうち、特定の事務を処理する。
 - 5 前4項以外の職員は、上司の命を受け、館務に従事する。

(昭56教委訓令甲3・昭57教委訓令甲6・平4教委訓令9・平8教委訓令4・平11
教委訓令4・平12教委訓令1・平16教委訓令10・一部改正)

(館長の専決事項)

第6条 中央館長は、別に定めるものを除くほか、次の事項を専決することができる。

- (1) 館務に関し、職名をもって文書を発送すること。
- (2) 中央館の所属職員及び地域館長の近接地内旅行、私事旅行、欠勤、休暇、育児休業、部分休業、育児短時間勤務、超過勤務、休日勤務、代休日の指定、週休日の振替及び深夜勤務制限に関すること。
- (3) 地域館の所属職員の私事旅行、欠勤、病気休暇、介護休暇、組合休暇及び深夜勤務制限に関すること。
- (4) 職員の事務分掌に関すること。
- (5) その他定例の事務に関すること。

2 地域館長は、別に定めるものを除くほか、次の事項を専決することができる。

- (1) 館務に関し、職名をもって文書を発送すること。
- (2) 所属職員の近接地内旅行、年次有給休暇、特別休暇、育児休業、部分休業、育児短時間勤務、超過勤務、休日勤務、代休日の指定及び週休日の振替に関すること。
- (3) 所属職員の事務分掌に関すること。
- (4) その他定例軽易な事務に関すること。

(昭56教委訓令甲3・平4教委訓令9・平10教委訓令7・平11教委訓令4・平19
教委訓令7・平20教委訓令10・一部改正)

(事案の代決)

第7条 中央館長及び地域館長(以下「館長」という。)が出張又は休暇その他の事故により不在のときは、館長があらかじめ指定する職員がその事案を代決する。

(事務報告)

第8条 中央館長は、毎月5日までに次の事項を教育次長に報告しなければならない。

- (1) 前月分の職員の勤務状況
- (2) 前月分の事務の処理状況

2 前項に掲げるもののほか特に必要と認める事項は、随時報告しなければならない。

3 地域館長は、毎月3日までに前2項に規定する事項を中央館長に報告しなければならない。

(昭57教委訓令甲6・平4教委訓令9・平16教委訓令10・一部改正)

(準用)

第9条 この規程に定めるもののほか、館の処務、文書の取扱い、職員の服務その他必要な事項については、葛飾区教育委員会事務局処務規程(昭和40年葛飾区教育委員会訓令甲第1号)を準用する。

付 則(中間省略)

付 則(平成12年2月15日教委訓令第1号)
この訓令は、平成12年4月1日から施行する。

付 則(平13年3月30日教委訓令第7号)
この訓令は、平成13年4月1日から施行する。

付 則(平成16年3月9日教委訓令第10号)
この訓令は、平成16年4月1日から施行する。

付 則(平成18年3月10日教委訓令第6号)
この訓令は、平成18年4月1日から施行する。

付 則(平成19年5月31日教委訓令第7号)
この訓令は、平成19年6月1日から施行する。

付 則(平成20年7月10日教委訓令第10号)
改正後の第6条の規定は、平成20年7月1日から適用する。

付 則(平成21年9月25日教委訓令第3号)
この訓令は、平成21年10月17日から施行する。

1 1 葛飾区子ども読書活動推進計画

○ 葛飾区子ども読書活動推進計画(抜粋)

第1章 計画策定の背景

1 計画策定の意義

平成8年に第15期中央教育審議会第1次答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」が出され、子どもたちに「ゆとり教育」と「生きる力」を与えることが重要であるとされました。特に「生きる力」を養うためには、豊かな人間性、思いやり、郷土愛等を育むことが大切であるとし、平成10年中央教育審議会答申「新しい時代を拓く心を育てるために-次世代を育てる心を失う危機」では、「心の教育」の重要性や、時代の変化に応じた問題解決能力を育成するための「総合的な学習」の必要性が提案されました。

また平成12年教育改革国民会議報告書では、読み、書き、話すなど言葉の教育が重要であるとの報告が出される一方、OECDの「生徒の学習到達度調査」により、日本の子どもの読書離れが指摘されるなど、読書活動への関心が高まってきました。

こうした社会的な動きを受け、平成13年には「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、翌年には、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定されて、「読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことが出来ないものであり、社会全体でその推進を図っていくことが重要である」として読書活動の推進が必要であるとされました。

さらに、読書活動を通して親子や地域の大人と子どものふれあいの場を作っていくことは、子どもの育成を社会全体で支えるという子育て支援にも繋がるものです。

こうしたことから、本区においても、「葛飾区基本計画」や「葛飾区教育振興ビジョン」、「葛飾区図書館基本計画」などにおいて、読書活動や読書環境の整備に努めているところ です。

しかし、現在の子どもを取り巻く環境はテレビやマンガ、ゲームなどメディアからの強い影響力が及んでおり、子どもの興味が読書に向くことが困難となっています。

このため、子どもの読書活動を推進していくためには、読書に限らず地域の子どもの育成や地域の活動に関わる人や団体が互いに協力し、地域の文化活動の活性化を図り、子どもを取り巻く文化的環境を向上させることが求められています。

このような背景のなかで家庭・地域・行政や関連機関が一体となって子どもと本を結びつけるため、子どもの読書活動の推進に関する施策についての基本的な計画を策定するものです。

2 国および東京都の動向(省略)

第2章 基本的な考え方

1 計画の性格

この計画は子どもの読書活動の推進に関する法律第9条第2項の規定に基づく計画であり、国が策定した「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」および東京都が策定した「東京都子ども読書活動推進計画」を基本に、葛飾区における子どもの読書活動の状況を踏まえて策定します。

また、この計画は区の基本計画をはじめ、「葛飾区教育振興ビジョン」や「葛飾区子育て支援行動計画」、「葛飾区図書館基本計画」などとも整合を図り、区と区民が連携して子どもの読書活動を推進していくための施策の方向性や取組を示します。

2 計画の目標

(1) 子どもの読書環境の整備

区では、子どもが本を読むことを習慣化できるように、乳幼児期からの働きかけを行うとともに、家庭・地域・学校において、その場所や子どもの発達段階に応じた働きかけができる環境の整備を目指します。

(2) 地域全体での推進体制

区では、子どもが日常生活の中で本に親しむ機会をより多く得られるように、子どもの健全育成に関わる機関や団体などがこれまで以上に連携・協力を深め、地域社会全体で子どもの読書活動を推進できる体制を目指すために、区民、民間団体、行政機関などへの啓発活動を実施します。

(3) 子どもの読書活動に関わる人材の育成

子どもの読書活動の推進を行う人材を育成するため、ボランティア、関係機関の職員、教員等への研修会や連絡会を行うとともに、地域団体が行う自主的な研修会や学習活動などを支援します。

3 計画の期間

平成17年度から平成21年度までの5年間とします。なお、区基本計画等との整合性に留意しながら、必要に応じ見直しを行います。

第3章 葛飾区子ども読書活動の現状と課題(省略)

第4章 読書活動推進に向けた具体的な取組

1 乳幼児期における取組

乳幼児と保護者に読書の楽しさや大切さを説明しながら絵本を手渡す、「ブックスタート事業」を中核として、絵本の読み聞かせを家庭で実施するきっかけづくりや保護者が絵本を選ぶ手助けとなる事業を子育て支援事業の一環として実施していきます。

- 保健センターの健康診査等を利用した「ブックスタート事業」の実施(区立図書館・保健センター)
- 保健センターがサポートする育児グループの読書活動の支援(区立図書館・保健センター)
- 保健センターの4ヶ月健康診査等で区立図書館が作成する絵本のリスト「ファーストブック」を配布(区立図書館・保健センター)
- 年齢別のおすすめの絵本のリスト作成やホームページへの掲出(区立図書館)
- ブックスタートのフォロー事業として児童館で図書館職員等による絵本の読み聞かせや保護者への啓発事業などを実施(区立図書館)

2 児童・生徒への取組

児童・生徒の読書活動を推進するために、学校・家庭・地域においてさまざまな機会を利用して働きかける体制を整えるとともに、それぞれの取組が緊密に連携できるよう連絡体制を整えます。

(1) 区立図書館の児童サービスの充実

児童・生徒が図書館を利用するきっかけを作り、また読書活動の内容を深めていけるように児童サービスの充実を図ります。

- 児童室蔵書の充実
- 児童室行事の充実
- 読書相談、レファレンス(注5)機能の充実
- ボランティアとの協働による児童室行事の充実
- 1日図書館員等参加型行事の充実

(注5)レファレンス:調べものに対して、回答を与えるのではなく、調べるために必要な資料や情報を紹介するサービス。

(2) 区立図書館のヤングアダルトサービスの充実

小学校高学年から中学生・高校生の読書離れ、図書館離れを防止するため区立図書館のヤングアダルトサービスの充実を図ります。

- ヤングアダルトコーナーの充実
- 利用者ノートや利用者の投稿の掲示など利用者参加型の企画の充実
- 中学生の職場体験やボランティアの受入の拡大
- 中学生向けの絵本の読み聞かせ講習の実施

(3) 学校図書館と区立図書館の連絡会の実施

学校・地域団体・区立図書館の連絡や連携を深めるために、区立図書館が中心となり地域の学校図書館の担当教員や支援指導員及び学校図書館で活動するボランティア団体との連絡会を実施します。

(4) 学校開放型児童健全育成事業における取組

学校開放型児童健全育成事業「わくわくチャレンジひろば」の中で、地域の協力を

受け、学校図書館の開放やおはなし会などを実施し、放課後の読書活動の支援を行います。

(5) 児童館が行うおはなし会等の行事の充実

児童館で行っているおはなし会や絵本の読み聞かせなどを、ボランティアの協力などにより充実を図ります。

3 学校・学校図書館における取組

葛飾区教育振興ビジョンにおいて、確かな学力の定着のための施策として読書指導・学校図書館の充実が位置付けられています。

児童・生徒の読書活動推進のために、家庭の次に長い時間を過ごす学校の読書環境を整えることは重要です。また教員から児童・生徒に読書推進のための働きかけを行うことはその影響力の大きさから読書活動推進の効果が期待できます。

(1) 学校での読書活動、読書機会の充実

「朝の読書」に代表されるような読書の時間や、読書への導入となる読み聞かせやアニメーション(注6)、ブックトークなどの子どもと本を結びつける取組について、学校が中心となり保護者や地域のボランティアと協力して充実を図ります。

- 読書の時間の全校導入の促進
- 読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせの拡大
- 教員による読み聞かせや本の紹介などの実施
- 各学校で卒業までに読む「必読書」の選定

(注6) アニメーション: ある本をテーマにしたクイズやゲームなどにより読書への興味を持たせる技法。主に学校で行われる。

(2) 学校図書館の充実

学校図書館が学校における読書推進活動の拠点となるように、人・資料・設備の充実と活用を図ります。

- 学校図書館支援指導員の全校配置
- 図書館ボランティアの受入の拡大
- 学校図書館図書標準の充足を目標とした蔵書の充実
- 学校図書館支援指導員と図書館ボランティアへの研修の実施
- 学校図書館の電算化の促進

(3) 図書館利用教育の実施

図書館での本の探し方や利用の方法などの指導を学校のカリキュラムの中で実施し、学校図書館や区立図書館の利用の促進を図るとともに、児童・生徒の自分で調べる力を育てます。

(4) 学校図書館の資源共有ネットワークの検討

文部科学省が進める「学校図書館資源共有化ネットワーク事業(注7)」のような学校図書館どうしの資料の共同利用などのネットワーク構築について、区立図書館との

連携と合わせて将来に向けて研究していきます。

(注7) 学校図書館資源共有化ネットワーク事業: 学校図書館の蔵書情報の共有化や、蔵書の相互利用のための物流の整備などを行い、学校図書館の図書を地域で共有化することを目指す事業。

- (5) 教員研修の実施
教員研修の中で読書活動に関する内容や区立図書館での実習を実施します。
 - (6) 校内での推進体制の整備
各学校の学校経営方針や指導計画などに読書推進活動を取り入れることを検討していきます。
- 4 区立図書館における取組
- 地域の子どもの読書活動推進の拠点として、従来のサービスの拡充に加え、読書推進活動を行う個人・団体・施設への支援機能の充実を図ります。
- (1) 地域の読書支援センター機能の充実
区立図書館が地域における子ども読書活動の支援センターとなることを目指します。
 - 各施設職員やボランティアへの支援の充実
 - 図書の団体貸出の充実と学校等への図書交換車の運行
 - 各施設とボランティアを仲介するコーディネート機能の充実
 - 各施設等で実施する講座などへの職員の講師派遣
 - 区立図書館の職員の資質向上のための研修の実施
 - (2) 学校との連携
学校における読書活動や学校図書館の整備・運営に対して、資料の団体貸出や研修への協力、活動への助言などの支援を行います
 - 指導室が行う読書推進や図書館に関する教員研修への協力
 - 学校図書館支援指導員や学校図書館ボランティアの研修への協力
 - 団体利用の促進
 - 図書館利用教育の実施の検討
 - 小・中学校向け区立図書館利用のしおりの作成・配布
 - (3) 障害のある子どもへの取組
障害のある子どもが活用できる資料や障害を理解するための資料を充実させます。また、区内にある都立の聾学校、盲学校、養護学校との連携を図り、今後どのような支援が可能か検討します。
 - 布絵本・点字絵本・点訳絵本等資料の充実
 - 布絵本・点字絵本・点訳絵本を作成するボランティアの育成
 - 障害を理解するための本の充実
 - 聾学校、盲学校、養護学校との連絡体制の整備やおはなし会の実施の検討
 - (4) IT(情報通信技術)や新しいメディアの活用の検討

日々進歩する情報通信技術を積極的に研究し、新しい形の図書館サービスの模索を行い、パソコンやインターネットなどを活用した情報教育の場の提供などを検討していきます。

- パソコンを使った絵本作成講座の実施
- 利用者向けインターネットパソコンの設置と子どもの利用促進

5 保育園・幼稚園における取組

(1) 絵本の読み聞かせ等の実施

園職員により行われている絵本の読み聞かせやおはなし会などを今後も実施するとともに、これを補完するため読み聞かせボランティアによる読み聞かせやおはなし会の実施も検討します。

(2) 団体貸出等を利用した蔵書の充実

各園の蔵書の少なさをカバーするために区立図書館の団体貸出の活用や区立図書館で不要となった児童向け図書の再活用を検討します。

6 児童館・保健センターなど各施設等における取組

(1) 児童館でのおはなし会等の実施

児童館では多くの館で絵本の読み聞かせやおはなし会などを実施しています。今後も引き続きこの事業を実施するとともに、ボランティアとの連携により充実を図ります。また、平日の午前中に来館する乳幼児とその保護者に対しては、ブックスタートのフォローになるような事業を、児童館・区立図書館・ボランティアが連携して実施することを検討します。

(2) 保健センターでの取組

保健センターがサポートしている育児グループの活動の中で、区立図書館と協力して絵本の読み聞かせの紹介や絵本の選び方のアドバイスなどブックスタートのフォローとなる内容を行います。また区立図書館が作成した乳幼児向けの本のリスト「ファーストブック」や図書館のおたよりなどを配布します。

(3) 高齢者支援課での取組

高齢者支援課では、平成16年度に社会参加セミナーの中で「シニア紙芝居ボランティア養成講座」を実施しました。今後もシニアのニーズに合わせたボランティア養成等の講座の実施を検討するとともに、受講後も活動が継続できるよう支援を行います。

(4) 生涯学習における取組

社会教育館などで行う講座の中に、図書館と連携して子どもの読書活動推進に関する内容を取り入れます。また、生涯学習援助制度などを利用して区民の自主的な活動を支援します。

(5) 子ども発達センター等での取組

平成17年度に開設された「子ども発達センター」など、障害や発達に遅れのある子

どもが利用する施設において、発達支援の一環として絵本の読み聞かせを実施します。また、絵本の読み聞かせに必要な図書や読書ボランティアとの協働について区立図書館との連携を検討していきます。

(6) 各施設への図書コーナーの設置の検討

各施設において子ども向けの図書コーナーの設置や区立図書館の団体貸出の利用などを検討します。

7 地域・ボランティアの取組

(1) 読み聞かせボランティア養成講座

区立図書館と読み聞かせボランティアの団体との協働により、読み聞かせボランティア養成講座を実施し、ボランティアの自主的で継続的な活動を支えます。

(2) 子どもの読書の日行事

「子ども読書の日」に図書館が行う行事を家庭や地域への普及啓発のためのものと位置づけ、子どもが本を読んで書いた感想画を募集したり、親子で参加できる企画を地域の団体と協力して実施します。

(3) 子どもの文化を担う人や団体との協力・協働

地域にゆかりのある絵本作家や児童文学者、伝承文学やわらべうた、手遊びなど子どもの文化の普及や伝承に関わる人や団体に、各種行事や研修などに協力していただくとともに、図書館ホームページでこれらの活動を紹介していきます。

(4) 地元書店との協力

地元書店を地域の図書・出版文化の一翼を担う存在と位置づけ、各種ブックリストの配布や行事のポスター掲出などに協力してもらうとともに、読書活動推進の普及のための協働の一環としてキャンペーンや児童図書展示会の実施の依頼などを検討します。

(5) 普及啓発

「広報かつしか」や「かつしかの教育」など、さまざまな機会を活用して、家庭や地域に向けて普及啓発を行います。また、地域で活動する人や団体を区立図書館ホームページで紹介し、推進活動を身近なものと感じてもらえるように工夫します。

第5章 計画推進のための体制

本計画の実現に向けて、各機関・団体がそれぞれの目標にあわせて子どもの読書活動に携わると同時に、各機関および団体どうしの連絡や連携を密にして、本計画を実現していく体制をつくります。

1 関係機関の連携

(1) 学校と区立図書館の連携

文部科学省が進める「学校図書館資源共有化ネットワーク事業」のような学校図書館のネットワークの構築や、学校図書館支援指導員の研修体制など学校全体の課題について、学校と区立図書館とが将来を見据えた検討を行うための連絡・調整体

制を整えます。

(2) 児童館・保健センターと図書館等の連携

子どもの読書活動を子育て支援施策の1つとして位置づけていくために、子どもの健全育成に関わる各部課の連携、協力のための実務者の連絡会の実施を検討します。

(3) 関係職員への啓発や人材育成

区立図書館で実施している職員研修やボランティア向けの講座などに関係部課の職員も参加してもらい、職員の意識向上や技能育成を行います。

2 地域団体との協働

(1) 各団体間の連絡・協力体制の確保

子どもの読書に関連したさまざまな分野で活動するボランティア団体同士の連絡体制を整え、ボランティア団体同士の連絡会が継続的に行われていくことを目指します。

(2) 人材育成や活動場所開拓のための協力体制

ボランティア団体同士が協力して自主的に開催する研修会を区が支援します。また活動を広げたいボランティア団体とボランティアを受け入れたい保育園・児童館・学校などとの仲介や調整を区立図書館が行います。

3 計画進捗の把握

区はこの計画の進捗状況を把握し、効果を評価するために、「(仮称)葛飾区子ども読書活動推進委員会」を設置し、子どもの読書活動の啓発普及を図ります。

(平成 17 年 6 月策定)

かつしかの図書館

平成22年度事業年報

平成23年12月発行

編集発行 葛飾区立中央図書館

〒125-0042 葛飾区金町6-2-1

ヴィナシス金町プライトコート3階

電話 03-3607-9201